

60239

教科書文庫

6

410

34-1949

01304

49782

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

Kodak Color Control Patches

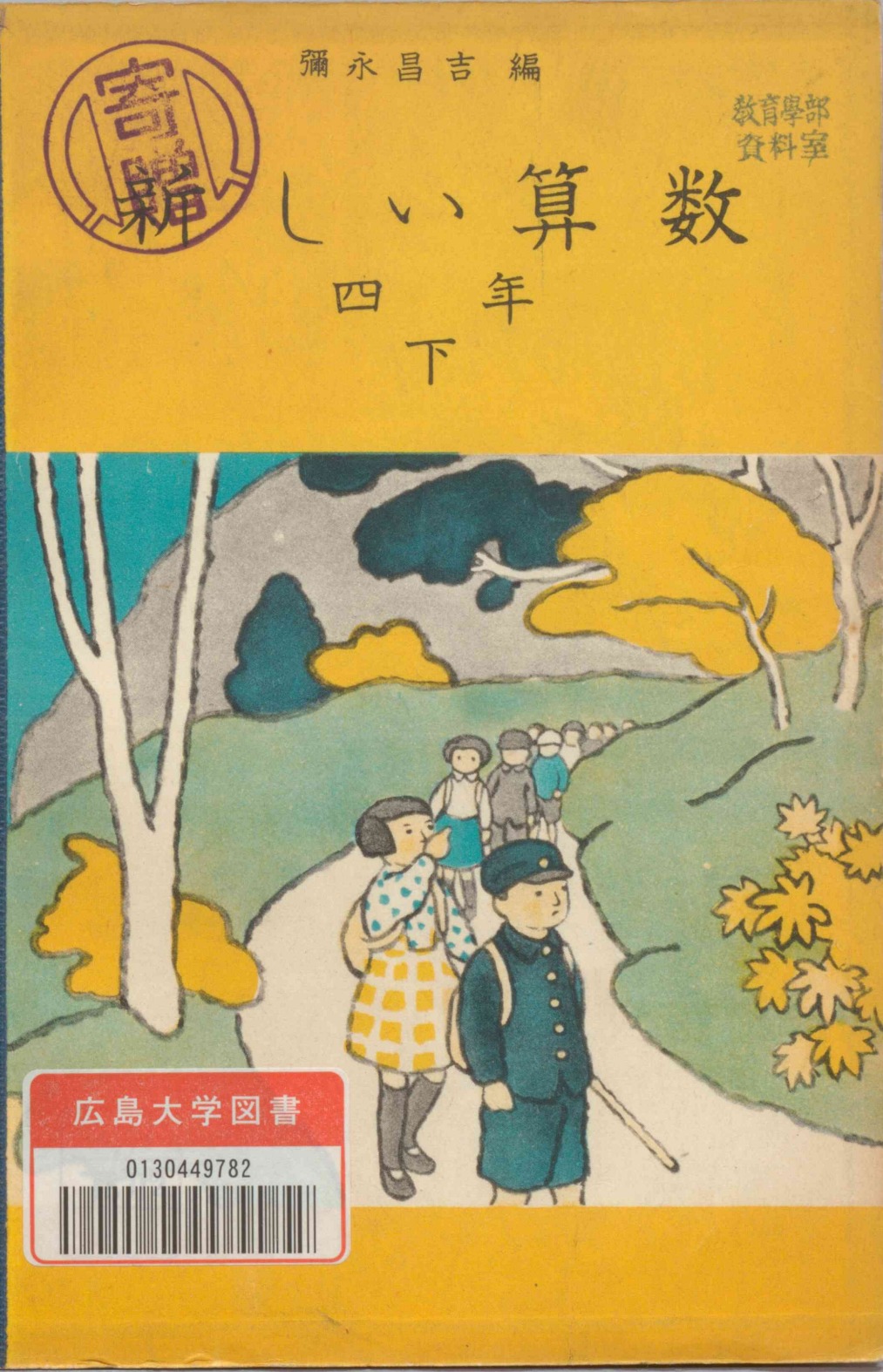
© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

文庫
49
782

広島大学図書
0130449782



彌永昌吉 編

教育部
資料室



算数

四年
下

中央図書館

教科書文庫

6

410

34-1949

0130449782

新しい算数

四年
下

広島大学図書

0130449782



広島大学
教育学部図書



広島大学図書

0130449782



東京書籍株式会社



目次

買 い も の1-20

 店やさんごっこ 2

 買 い も の10

 こづかいちょう13

秋のとりいれ21-42

 はかりの使い方22

 さつまいもの重さ25

 いねのとりいれ31

遠 足43-64

 道 じ ゅ ん44

 時間のしらべ45

 電車ちんのけいさん53

 しごとの手わけ56



店 し ら べ65-86

 お店のしごと66

 魚 や さ ん67

 賣上のせいり71

えきのしらべ87-108

 人の乗りおり88

 にもつのしらべ98

 うんちんのしらべ100

村 の 地 図109-126

 村の案内図110

 地図と道のり114

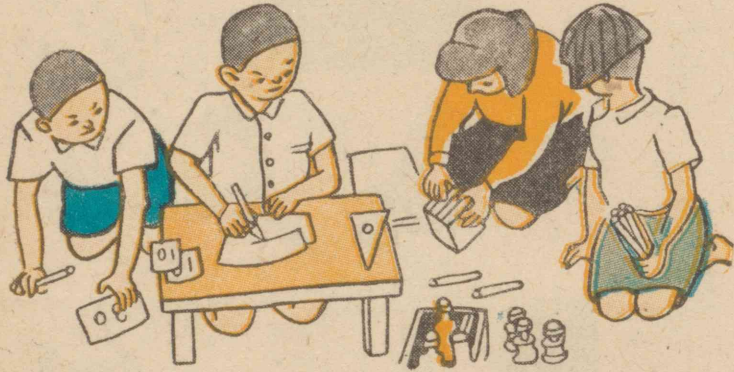
 コンバスの使い方118

 きよし君の地図120





買 い も の



店やさんごっこ

ひろし君たちは店やさんごっこをすることにしました。

みんなで話し合って、つぎのように決めました。

とんやさん	ひろし君のねえさん
ぶんぼうぐやさん	ひろし君
買う人	ふみお君 あき子さん

ひろし君は、ねえさんといっしょに、いろ

いろな品物の名前を紙きれに書いています。ふみお君とあき子さんは、お金をこしらえています。わたくしたちも作ってみましょう。

すっかりできあがったので、品物はぜんぶひろし君のねえさんにわたして、お金は4人で分け合いました。

ひろし君は、店の品物をそろえるために、とんやさんから、いろいろな品物を仕入れました。下の表は、そのときの品物のかずと、仕入れねだんをしめしたものです。

品 物	数	仕 入 れ ね だ ん
ち ょ う め ん	5 さ つ	1 さ つ 13 円
え ん び つ	8 本	1 本 5 円
け し ご む	5 個	1 個 4 円 50 銭
ふ で 入 れ	2 は こ	1 は こ 70 円

ひろし君は、とんやさんにいくらお金をはらえばよいかをけいさんしました。

1 さ つ は 13 円 だ す。13 円 は 10 円 と 3 円 で

すから、5さつでは、 $10\text{円} \times 5 = 50\text{円}$ と、

$3\text{円} \times 5 = 15\text{円}$ となり、みんな

$$50\text{円} + 15\text{円} = 65\text{円}$$

です。

あとでねえさんに、上のけいさんは、つぎのようにすればよいとおしえてもらいました。

右の(1)、(2)のけいさん (1) $\begin{array}{r} 10 \\ \times 5 \\ \hline 50 \end{array}$ (3) $\begin{array}{r} 13 \\ \times 5 \\ \hline 15 \\ \hline 50 \\ \hline 65 \end{array}$
をいっしょにすると、(3) のようになりますが、ふ

つうはこれを下のよう

$$(2) \begin{array}{r} 3 \\ \times 5 \\ \hline 15 \end{array}$$

書きます。これ $\begin{array}{r} 13 \\ \times 5 \\ \hline 65 \end{array}$ をけいさんするときには、まず “5 3, 15” とくくをとなえて、15の5だけを5の下に書き、残りの10の1をくりあげておぼえておきます。つぎに “5 1, 5” ととなえて、いま出た5と、前にくりあげた1とをよせて6とし、これを5の左に書きます。

ひろし君たちは、ねえさんにおしえてもらったしかたで、もう1度けいさんしてみました。

わたくしたちもしてみましよう。

1 上のしかたにならって、つぎのけいさんをしましよう。

$$\begin{array}{r} 14 \\ \times 3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 23 \\ \times 4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 51 \\ \times 6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 23 \\ \times 7 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 68 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$$

右は、 5×13 のけいさんのしかたをしめたものです。

$$\begin{array}{r} 5 \\ \uparrow \\ \times 13 \\ \hline 65 \end{array}$$

このけいさんをするには、まず “3 5, 15” とくくをとなえて、15の5だけを3の下に書き、1をくりあげておぼえておきます。つぎに、 “1 5が5” とくくをとなえて、いま出た5と、前にくりあげた1とをよせて6とし、これを5の左に書きます。

上のけいさんでわかったように、 13×5 と 5×13 の答は変わりません。

このことを使えば、かけざんの答に、あやまりがないかどうかをたしかめることができます。

2 上の1のけいさんで、あやまりがなかったかどうかをたしかめてみましょう。

3 つぎのけいさんをしましょう。また、答をたしかめましょう。

$$\begin{array}{r} 2 \\ \times 16 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7 \\ \times 41 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 3 \\ \times 98 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 9 \\ \times 12 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6 \\ \times 87 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 81 \\ \times 8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 55 \\ \times 4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 38 \\ \times 5 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 29 \\ \times 7 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 79 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

4 下はけしごむの代金のけいさんをしめたものです。

$$\begin{array}{r} 450 \\ \times 5 \\ \hline 2250 \end{array}$$

450は45の10倍ですから、まず45の5倍をもとめてその答を

10倍すればよいと考えて、つぎのようなけいさんをしました。

このしかたを考えましょう。

5 ほかの品物の代金もけいさんしましょう。

6 ひろし君は、とんやさんにいくらほらばよいでしょうか。

ひろし君は、ねえさんとそうだんして、仕入れた品物に賣りねをつけました。

下の表はその賣りねをしめたものです。

品物	賣りね	
ちょうめん	1さつ	16円
えんびつ	1本	6円50銭
けしごむ	1個	5円40銭
ふで入れ	1はこ	74円

ちょうめんの賣りねは、1さつにつき、仕入れねだん

より3円高くつけてあります。

このように、賣りねと仕入れねだんとのちがいを、その品物のもうけといいます。これを表でかくと、下のようになります。

仕入れねだん+もうけ
賣りね

賣りねは、また定價ともいいます。

1 えんぴつを1本賣れば、もうけはいくらになるでしょうか。また、けしごむ1個、ふで入れ1はこについてのもうけはいくらになるでしょうか。

2 ふみお君がちょうめん3さつと、えんぴつ2本を買いました。

(1) ふみお君はいくら代金をはらえばよいでしょうか。

(2) ふみお君はひろし君に70円わたしました。ひろし君はいくらおつりをわたせばよいでしょうか。

あき子さんはちょうめん、けしごむ、ふで入れを1つずつ買いました。

あき子さんはその代金を右の
ようにしてけいさんしました。

$$\begin{array}{r} 1600 \\ 540 \\ +7400 \\ \hline \end{array}$$

わたくしたちもけいさんをしてみましょう。

ひろし君はあき子さんからもらった代金を

つぎのようにしてあんざんでけいさんしました。

$$74\text{円} + 16\text{円} + 5\text{円} 40\text{銭}$$

わたくしたちもしてみましよう。

あき子さんの答と、ひろし君の答をくらべてみましょう。

また、 $5\text{円} 40\text{銭} + 16\text{円} + 74\text{円}$ をけいさんしてみましよう。

上でしたように、いくつかのかずをよせるとき、よせるじゅんをかえても、答はかわりません。

1 つぎのけいさんで、よせるじゅんをいろいろかえて答を出してみましよう。

$$23 + 29 + 17 \quad 245 + 19 + 581$$

$$382 + 118 + 400 \quad 20 + 1060 + 7980$$

2 ひろし君の店で、品物をぜんぶ賣ると、もうけはいくらになるでしょうか。

買い物

あき子さんはおかあさんといっしょに買い物に行きました。おかあさんの行かれる店は、いつもきまっていますので、あき子さんはその店をよく知っています。おかあさんは歩きながら、あき子さんにつきのようなことを話されました。

じょうずな買いものをするには、安く、質のよい品物を買うことがたいせつです。

家に帰ってから、おかあさんは、いま買ってきた品物のねだんを、買いものちょうにつけておられました。

下の表は、そのとき買った品物のかずとねだんをしめしたものです。

品物	数	ねだん
ちやわん	5 個	1 個 25円
ゆのみ	4 個	1 個 30円
げた	3 ぞく	1 ぞく 120円

りんご	750 g	375 g	50円
ソース	1びん	1びん	23円

あき子さんのおかあさんは、みんなでいくらの買いものをしたのでしょうか。

右の表は、あき子さんがきんじょの店でしらべた品物のねだんです。

品物	ねだん	
ちやわん	1 個	27円
ゆのみ	1 個	31円
げた	1ぞく	125円
りんご	375 g	55円
ソース	1びん	25円

あき子さんは、おかあさんがこれらの店で買ったとしたら、ぜんぶでいくらの買いものになったかをしらべています。

げた3ぞくの代金は、右のよう
にけいさんをします。

$$\begin{array}{r} 125 \\ \times 3 \\ \hline 375 \end{array}$$

このけいさんをするときには、

$3 \times 5 = 15$ の5を3の下に書き、1をくりあげます。くりあげた1を $3 \times 2 = 6$ の6とよせて、5の左へ7と書きます。つぎに、

3 1が3, の3を7の左へ書きます。

1 これらの店で買うと、みんなで代金は
いくらになるでしょうか。

また、どちらの方が、どれだけ安く買
うことができるでしょうか。

2 市場で大
賣り出しが
あったので
買いものに
行きました。
右の表はそ

品 物	ね だ ん
ちやわん 1 個	22円50銭
ゆのみ 1 個	27円
げ た 1 そく	108円
りんご 375g	45円
ソース 1びん	20円50銭

のときのねだんです。もし、このときお
かあさんがこの表のとおり買いものを
したとすると、ぜんぶでいくら買いもの
になったでしょうか。また、おかあさ
んがいつも買う店よりも、どれだけ安く
買うことになるでしょうか。

3 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 215 \\ \times 4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 228 \\ \times 3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 117 \\ \times 5 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 346 \\ \times 2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 523 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 263 \\ \times 3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 241 \\ \times 4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 171 \\ \times 5 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 946 \\ \times 2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 235 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$$

こづかいちょう

あき子さんはおかあさんから毎月こづかい
を100円ずついただきます。しかし、きょう
か書や、さんこう書のお金は、そのときどき
にいただくことにしています。また、こづか
いを使ったときには、かならずこづかいちょ
うにつけることにしています。

下はあき子さんのこづかいちょうの1部で
す。

月日	品、物 など	入	出	残り
9 1	おかあさんからいただく	100.00 円	円	円
2	ちやうめん		32.00	68.00
7	ざっし		25.00	
18	リボン		20.00	
20	妹のたんじょういわい		10.00	

このこづかいちょうに、使った日の残りの金高を書き入れましょう。

わたくしたちもこづかいちょうを作って、使った日の残りを書き入れましょう。

9月20日の残りは、

100円 - 32円 - 25円 - 20円 - 10円

どしてもけいさんできますが、また、つぎのようにしてもできます。

$32円 + 25円 + 20円 + 10円 = 87円$

$100円 - 87円 = 13円$

このように、あるかずからいくつかのかずをつぎつぎにひくときには、ひくかずをぜんぶよせたものを、はじめのかずからひいても同じになります。

1 つぎのひきざんを、左からじゅんにけいさんしましょう。

また、ひくかずをぜんぶよせたものをはじめのかずからひいてみましょう。

(1) 100円 - 34円 - 25円 - 10円 - 26円

(2) 100円 - 16円 - 14円 - 23円 - 37円

2 下の図はふみお君のこづかいちょうです。

月日	品物など	入	出	残り
9 1	こづかい	100.00		
7	ざっし		25.00	
10	虫とりあみ		10.00	
12	ひこうき		45.00	
15	けしごむ		5.40	
20	おじさんから	30.00		
21	動物しゃしん		20.00	
30	えんぴつ		19.50	

あいたところに残りを書き入れましょう。

9月15日の残りはいくらでしょうか。

9月20日に、おじさんから30円いただいていくらになったでしょうか。

9月は、ぜんぶでいくら使ったでしょうか。また、いくら残ったでしょうか。

この単元のまとめ

- 1 いくつかのかずをよせるときには、よせるじゅんをかえても答はかわりません。このことを使って、よせざんの答をたしかめることができます。
- 2 よせざんをするときには、2つの場合があります。いくつかのものがあ、それを合わせればいくつかという場合と、いくつかのものがあ、それにいくつかふえればどれだけになるという場合です。
- 3 あるかずからじゅんにいくつかのかずをひくとき、ひくかずをぜんぶよせて、もとのかずからひいてもよいのです。
- 4 2けたや3けたのかずに1けたのかずをかけるには、右の
- | | |
|------------|------------|
| 21 | 134 |
| $\times 5$ | $\times 6$ |
| <u>105</u> | <u>804</u> |
- ようにします。

テ ス ト

- 1 つぎのけいさんをしましょう。

$\begin{array}{r} 34 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 22 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 61 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 73 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 94 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$
---	---	---	---	---

$\begin{array}{r} 23 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 19 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 43 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 43 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 97 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$
---	---	---	---	---

- 2 つぎのけいさんをしましょう。

$\begin{array}{r} 347 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 216 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 127 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 416 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 549 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$
--	--	--	--	--

$\begin{array}{r} 173 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 152 \\ \times 4 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 483 \\ \times 2 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 271 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 261 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$
--	--	--	--	--

$\begin{array}{r} 125 \\ \times 7 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 164 \\ \times 5 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 235 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 526 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 472 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$
--	--	--	--	--

- 3 つぎのけいさんをしましょう。

$\begin{array}{r} 3 \\ \times 734 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ \times 369 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 5 \\ \times 457 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ \times 673 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 6 \\ \times 999 \\ \hline \end{array}$
--	--	--	--	--

$\begin{array}{r} 3 \\ \times 529 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \\ \times 364 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 8 \\ \times 629 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 7 \\ \times 587 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 2 \\ \times 999 \\ \hline \end{array}$
--	--	--	--	--

問題 (一)

- 1 ひろし君の組は10ばんに分かれています。ひろし君のはんは6人で、ほかのはんはみんな5人ずつです。

きょう、きょうか書の代金をひとり3円60銭ずつ集めることになりました。

ひろし君は、自分のはんの集まった金をかんじょうしています。いくら集まればよいでしょうか。また、ほかのはんは、いくらずつ集まればよいでしょうか。組ぜんぶで、いくら集まればよいでしょうか。

- 2 ひろし君の組で遠足をするので、電車ちんをひとり40円ずつ集めました。ひとりだけ病気で遠足には行かれません。いくら集めればよいでしょうか。じっさいに使ったのは、ひとり32円80銭ずつでした。

組ぜんぶで、残ったお金はいくらになるでしょうか。

問題 (二)

- 1 ひろし君たちの学校に窓ガラスがはいきゅうになりました。4年生ぜんたいで75まいです。4年生は3組あります。1組ではどのぐらいのわりあいになるでしょうか。

- 2 ひろし君たちの学校に、こんどちょうめんがはいきゅうになりました。ひとり3さつずつです。

学校ぜんたいのせいとの数は854人です。ちょうめんは学校ぜんたいで何さつはいきゅうになったでしょうか。

- 3 ひろし君の学校の1年生は155人です。また、2年生は147人、3年生は132人、5年生は140人、6年生は135人です。4年生は何人でしょうか。

- 4 ひろし君の学校の男のせいとは女のせいとより14人多いです。男のせいとは何人でしょうか。女のせいとは何人でしょうか。

研究

ひろし君のにいさんが、あき子さんの生まれた月と年とをあてています。

ひろし君のにいさん「あなたの生まれた月に2をかけて、それに5をよせなさい。それを50倍しなさい。それにあなたの年をよせなさい。いくらになりましたか。」

あき子さん「963です。」

ひろし君のにいさん「それでは、あなたは7月生まれで、13でしょう。」

あき子さん「そうです。どうしてわかるのですか。」

ひろし君のにいさん「あなたの答の963から250をひくと、713となるでしょう。このうち、100の位までが生まれた月で、後の2けたが年です。」

わたくしたちも、あてっこをしましょう。



秋のとりいれ

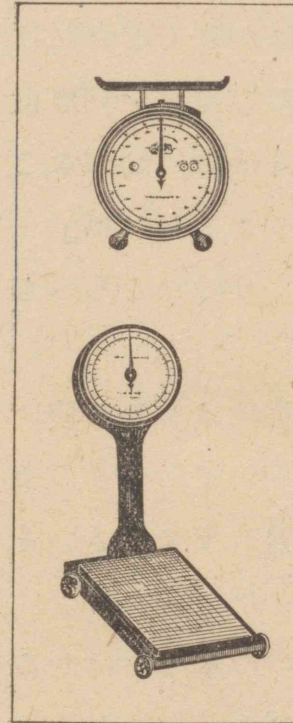


春から夏にかけてせわをしてきたさつまいもの、とりいれをするときがきました。

みんなでそうだんして、さつまいもの重さをしらべてみることにしました。

はかりの使い方

あきら君は自分がほったさつまいもの重さを、1かぶごとにはかろうと思って、先生からはかりを借りました。



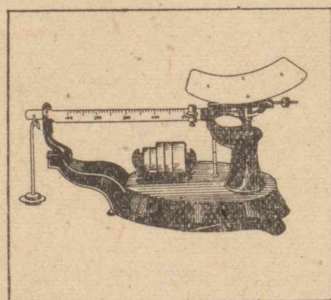
しんたいけんさに使うはかりにくらべると、ずっと小さなはかりです。

あきら君は、このはかりで何kg ぐらいまではかれるだろうかと思って、目もりばんを見ました。

目もりのしかたは、しんたいけんさのとき使うはかりとまったく同じで、4.5kg まではかれます。

あきら君は目もりばんを見て、10g ずつに分けてあるのをたしかめました。何ものせていないのに、はかりのはりが0よりすこし右の方にかたよっていることに気がつきました。はかりがくるっているのではないかと思って、このことを先生に話すと、先生は、

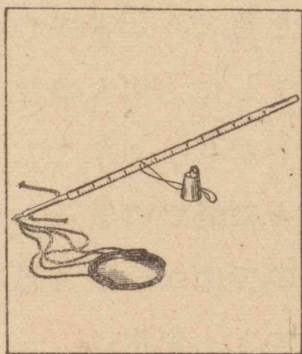
「はかりを使う前に、このはかりでどれだけの重さまでかはれるか、またこのはかりは正しいかどうかをしらべることはたいせつなことです。よいところに気がつきましたね。」
といいながら、はりを正しく0のところへもどされました。



先生ははかりの使い方について、つぎのように話してくださいました。

「ものの重さをはかるには、このほかにいろいろなはかりがありますが、どのはかりでもいためないようにしましょう。

目もりをしらべて、その読み方をまちがえないようにすることもたいせつなことです。」



さつまいもの重さ

あきら君は自分がほったさつまいもの重さをひとつかぶごとにはかりました。

あきら君がはかった5かぶの重さはつぎのとおりでした。

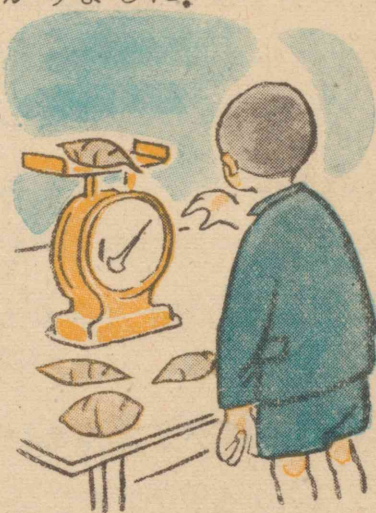
1 kgと250 g

1 kgと70 g

1 kgと320 g

1 kgと460 g

1 kgと150 g



はかった重さをちょうめんを書いておこうと思って、あきら君は1 kgと250 gをどのように書けばよいかを考えました。

1 kgと200 gならば、1.2 kgと書けばよいのだから、1 kgと250 gは1.25 kgと書いてもよいだろうと思って、先生にたずねました。

「1.2 kgは1200 gを kg を単位にして書きあ

らわしたもので、小数点から右の方へかぞえて第1位はgの単位では百の位をあらわします。ですから1.2 kgは1200 gとも考えられます。小数点から右の方へかぞえて、第2位はgの単位では十の位をあらわし、第3位はgの単位では一の位をあらわすことになります。したがって1 kgと250 gはkg単位で書くと1.25 kgとなります。」

と、先生はせつめいをしてくださいました。

あきら君が2ばんめにはかったかぶの重さは、1 kgと70 gでした。

あきら君は1 kgと70 gをg単位で書けば、1070g となって百の位が0となるから、これをkg単位で書けば1.07 kg でよいと考えました。

1 kg と 70 g $\left\{ \begin{array}{l} \text{g 単位で書くと} \quad 1070 \text{ g} \\ \text{kg 単位で書くと} \quad 1.07 \text{ kg} \end{array} \right.$

1 あきら君がはかったほかのかぶの重さを、kg 単位で書いてみましょう。

2 つぎの重さを kg を単位にして書いてみましょう。

3 kg と 580 g 4 kg と 90 g

5 kg と 30 g 7 kg と 860 g

3 つぎの重さは何 kg と何 g といえよいでしょうか。

4.25 kg 3.08 kg 10.11 kg

8.04 kg 9.18 kg 21.02 kg

あきら君は、さつまいも1かぶのしょうみの重さをけいさんしようと思って、まずかごの重さをはかってみました。860 g あったので0.86 kg と書きました。

つぎにはじめにはかった重さから、かごの重さをひきました。

$\begin{array}{r} 1.25 \text{ kg} \\ -0.86 \\ \hline \end{array}$ したたいけんさのがくしゅう
のときに、小数のけいさんでも

いままでのけいさんのしかたとかわりがないことを勉強しました。だからあきら君はまず小数点いか第2位の下に9を書き、小数点いか第1位の下に3を書き、つぎに小数点を書いて0.39kgを出しました。そのとき先生が、
「小数点いか第2位までの小数のよせざん、ひきざんは、小数点いか第1位までのときと同じように考えてけいさんしてよいのです。」とおっしゃいました。

あきら君は、残りの4かぶについてもけいさんをしました。

4 わたくしたちも、残りのかぶについてけいさんしてみましょう

5 あきら君がほったかぶの中で、いちばん重かったのは何kgだったでしょうか。

6 あきら君がほったさつまいもは、ぜんぶで何kgだったでしょうか。

7 とみ子さんのはんの人たちがほったい

50本について	
とみ子	5.0kg
とおる	4.2
まさ子	5.4
えい子	5.1
はじめ	4.6
よしお	3.9

もの重さは、左のとおりです。とみ子さんのはんのとりいれは、ぜんぶで何kgでしょうか。

8 あきら君たちは、1ばんから6ばんまでのとりいれを、つぎのようにま

とめました。あきら君の組では、どれだけのさつまいもがとれたでしょうか。とれだかのいちばん多いはんと、いちばんすくないはんでは、どれだけちがうでしょうか。

はん	1	2	3	4	5	6
とれだか	28.2kg	26.3kg	29.8kg	25.8kg	23.5kg	27.5kg

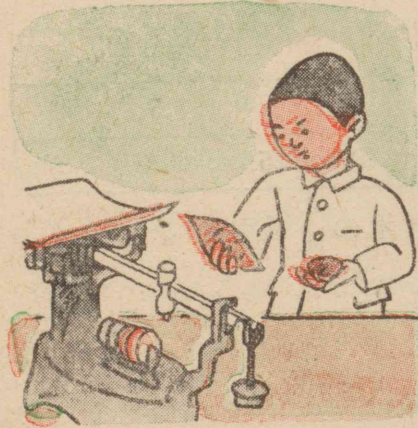
9 それぞれのはんのとれだかをぼうグラフにかきましょう。

あきら君は自分のはんの、いちばん大きなさつまいもをとりだそうとしました。

まず自分のはんでとれたいものの中から、形の大きなものを5つ見つけ出しました。

そのうちでどれがいちばん重いか、けんとうをつけてみようと思って両手に1つずつ持ってくらべてみました。

いちばん重いとかわれたいもを、およそ250gとけんとうをつけてから、はかりでしらべました。いちばん重いいもはやはりそのいもで重さは230gでした。あきら君は自分



のけんとうがだいたいあたったのでうれしくなり、先生にそのことを話しました。先生は、「よくあたりましたね。ものをはか

る前に、そのものの重さのけんとうをつけることはたいせつなことです。」

とおっしゃいました。

どのはんもあきら君のようにして、いちばん重いいもをえらびました。

は ん	1	2	3	4	5	6
いちばん重いいも	230 g	290 g	210 g	230 g	230 g	230 g

10 いちばん重いいもはどのはんのいもでしょうか。

11 本を手のひらにのせて、その重さのけんとうをつけてみましょう。そしてはかりではかってたしかめてみましょう。

あきら君たちはいろいろしらべたことをもとにして、のうかの人の作ったいもとくらべてみることにしました。

いねのとりにれ

あちらこちらで、いねかりがはじまりました。あきら君の組でも、あすいねかりをする

ことになりました。

あきら君は、田うえのとき1かぶ4本ずつうえたなえが、何本になっているだろうかと思っただぞえてみました。

1かぶが、52本にもふえているのにおどろきました。先生が、

「なえがこのようにふえることをぶんけつするといいます。何倍ぐらいになったのか、考えてみましょう。」

とおっしゃいました。

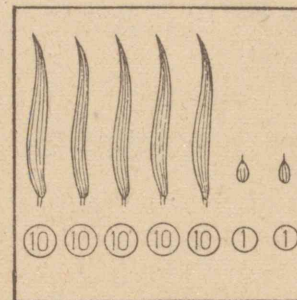
あきらくんは、4本のなえが52本になったのだから、何倍になったかを知るには、 $52 \div 4$ のけいさんをすればよいと考えました。

ところで、52の5は4でわり切れません。そこでこまって先生にたずねました。

すると先生は、いねの葉を5まいともみを2つぶとって、

「このいねの葉1まいを10の数と考え、もみ

1つぶを1の数と考えれば、これで52の数を



あらわすことになります。これを4でわるにはどうすればよいかを考えてごらん下さい。」

とおっしゃいました。

あきら君はいねの葉ともみを見ながら、まず、いねの葉を4でわりました。

$5 \div 4 = 1$ あまり1で、いねの葉が1まいあまってしまいます。



つぎにあきら君は、この残った1まいともみ2つぶを4でわればよいと考えました。いねの葉1まいはもみ10つぶにあたりますから、もみ12つぶを4でわるのと同じと考えて、 $12 \div 4 = 3$ とけいさんしました。

これで52を4でわれば、いねの葉が1まいともみが3つぶにあたるかすの13になることがわかりました。

あきら君はこのけいさんのしかたを先生に話しました。

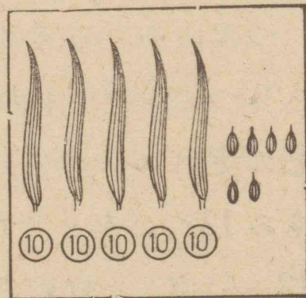
「よく考えましたね。」

と言って、先生がほめてくださいました。

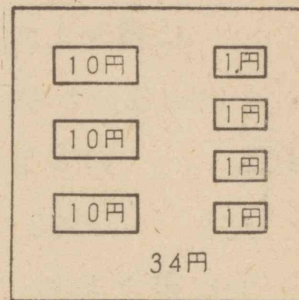
よし子さんたちもあきら君と同じしかたで、1かぶのなえが何倍にふえたかをけいさんしました。

1 よし子さんが4本ずつうえた1かぶは、56本にふえていました。何倍になったのでしょうか。あきら君と同じように考えてみましょう。

2 ただし君がちょうめんを2さつ買って、お金を34円はらいました。

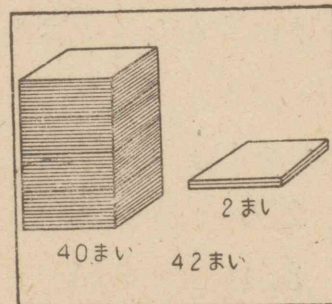


このちょうめん
1さついくらでしょ
うか。右のえを見て
考えてみましょう。



3 ちよがみが42ま

いあります。よし子さんは、ふたりの妹となかよく同じかずずつ分けようと思



ました。ひとりに何まいずつ分ければよいでしょうか。

きょうしつに帰って、先生はつぎのよ

うにせつめいしてくださいました。

$52 \div 4$ は $4\overline{)52}$ とも書きます。けいさんはつぎのようにします。

$$\begin{array}{r} 1 \\ 4\overline{)52} \\ 1 \end{array}$$

(1) 十の位の5を4でわります。
 $5 \div 4 = 1 \cdots 1$ です。たった1を5の上に、あまった1を5の下

に書きます。

$$\begin{array}{r} 13 \\ 4 \overline{)52} \\ 1 \end{array}$$

(2) 5の下に書いた1と、一の位の2を合わせた12を4でわります。 $12 \div 4 = 3$ 3を2の上に書きます。

52の上に書いた13が52を4でわった答です。

4 わたくしたちも、1, 2, 3の問題を(2)のようなしかたで、けいさんしてみましよう。

5 つぎのけいさんをしましょう。

$2 \overline{)30}$	$2 \overline{)32}$	$2 \overline{)36}$	$2 \overline{)38}$
$3 \overline{)45}$	$3 \overline{)48}$	$3 \overline{)51}$	$3 \overline{)54}$
$4 \overline{)52}$	$4 \overline{)68}$	$4 \overline{)72}$	$5 \overline{)60}$
$5 \overline{)75}$	$6 \overline{)72}$	$7 \overline{)84}$	$6 \overline{)78}$

あきら君たちがけいさんをしているとき、

「なれてくると、このようなけいさんは、右のようにかんたんにできるようになります。」

$$\begin{array}{r} 13 \\ 4 \overline{)52} \end{array}$$

と、先生がおっしゃいました。

6 わたくしたちもこのようなしかたで、つぎのけいさんをしましょう。

$2 \overline{)54}$	$3 \overline{)42}$	$4 \overline{)56}$	$5 \overline{)80}$
$2 \overline{)74}$	$2 \overline{)78}$	$4 \overline{)96}$	$5 \overline{)85}$
$6 \overline{)90}$	$7 \overline{)98}$	$2 \overline{)76}$	$6 \overline{)96}$

とみ子さんが3本ずつうえた1かぶは、46本にふえていました。

何倍になったのだろうかと思
つてけいさんしたら、一の位で
あまりが1でました。先生が、

$$\begin{array}{r} 15 \dots\dots 1 \\ 3 \overline{)46} \end{array}$$

「このようなわりざんでも、あまりがでたときは、答のよこにそのあまりを書いておくようにしましょう。」

とおっしゃいました。

この1かぶは、およそ15倍にふえたのです。

この単元のまとめ

1 はかりを使うときは、つぎのことに気をつけましょう。

はかりがくるっていないかどうかをしらべましょう。そのはかりでは、どれだけまではかれるか、また、目もりの分けかたはどうなっているかをしらべましょう。はかる前に重さのけんとうをつけましょう。

2 kg を単位として小数を使ってあらわすことがあります。たとえば、1kg と 250g は 1.25 kg となります。

3 小数のよせざんとひきざんを練習します。

4 2けたの数を1けたの数でわるけいさんを練習します。

$$\begin{array}{r} 13 \\ 4 \overline{)52} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 16 \dots 3 \\ 4 \overline{)67} \end{array}$$

テスト (一)

1 つぎの重さは何g でしょうか。

2 kg と 230 g 3 kg と 680 g

6 kg と 70 g 4 kg と 80 g

5 kg と 15 g 9 kg と 27 g

2 つぎの重さは何kg でしょうか。

2 kg と 50 g 5 kg と 620 g

7 kg と 60 g 9 kg と 30 g

3 kg と 260 g 8 kg と 170 g

3 つぎの重さは何kg と何g でしょうか。

7.85 kg 6.03 kg 26.35 kg

4.5 kg 7.8 kg 39.6 kg

6.2 kg 9.91 kg 75.08 kg

4 つぎの重さをkg でいってみましょう。

1260 g 3720 g 6380 g

2050 g 4070 g 8090 g

6300 g 5100 g 8600 g

5090 g 8010 g 6070 g

テ ス ト (二)

1 つぎのよせざんをしましょう。

$2.61 \text{ kg} + 3.59 \text{ kg} \quad 6.83 \text{ kg} + 1.17 \text{ kg}$

$4.88 \text{ kg} + 2.76 \text{ kg} \quad 7.18 \text{ kg} + 1.95 \text{ kg}$

$13.36 \text{ kg} + 29.81 \text{ kg} \quad 31.57 \text{ kg} + 49.62 \text{ kg}$

2 つぎのひきざんをしましょう。

$3.8 \text{ kg} - 1.9 \text{ kg} \quad 6.7 \text{ kg} - 2.9 \text{ kg}$

$3.21 \text{ kg} - 1.75 \text{ kg} \quad 9.57 \text{ kg} - 2.68 \text{ kg}$

$5.35 \text{ kg} - 2.77 \text{ kg} \quad 7.13 \text{ kg} - 6.46 \text{ kg}$

3 つぎのわりざんをしましょう。

$2\overline{)58} \quad 5\overline{)65} \quad 3\overline{)72} \quad 4\overline{)52}$

$4\overline{)76} \quad 3\overline{)84} \quad 5\overline{)70} \quad 4\overline{)64}$

$4\overline{)92} \quad 3\overline{)57} \quad 3\overline{)75} \quad 3\overline{)81}$

4 つぎのわりざんをしましょう。あまりも

書いてみましょう。

$3\overline{)67} \quad 3\overline{)79} \quad 2\overline{)71} \quad 4\overline{)79}$

$5\overline{)68} \quad 6\overline{)89} \quad 7\overline{)88} \quad 8\overline{)95}$

$7\overline{)82} \quad 6\overline{)92} \quad 5\overline{)74} \quad 4\overline{)65}$

問 題

1 よし子さんはおかあさんのてつだいで、

やおやさんに行きました。やさい 2.65 kg

とくだもの 450 g を買いました。よし子さ

んが持って帰った重さはいくらでしょうか。

2 よし子さんの家で、よし子さんの買って

きたやさいを 780 g 使いました。あといく

ら残っているでしょうか。

3 つぎのわりざんをしましょう。

$2\overline{)31} \quad 3\overline{)62} \quad 4\overline{)57} \quad 5\overline{)79}$

$6\overline{)82} \quad 7\overline{)85} \quad 8\overline{)99} \quad 4\overline{)75}$

$5\overline{)73} \quad 8\overline{)94} \quad 7\overline{)95} \quad 9\overline{)97}$

$2\overline{)33} \quad 3\overline{)52} \quad 2\overline{)59} \quad 3\overline{)56}$

4 つぎのわりざんをしましょう

$66 \div 4 \quad 78 \div 7 \quad 70 \div 4 \quad 84 \div 5$

$75 \div 6 \quad 99 \div 7 \quad 95 \div 6 \quad 89 \div 7$

$94 \div 8 \quad 71 \div 4 \quad 81 \div 6 \quad 96 \div 6$

$97 \div 7 \quad 66 \div 5 \quad 76 \div 7 \quad 88 \div 6$

研究

- 1 よし子さんがりんごを5つ買ったら、950 g ありました。だいたい1つの重さはどれぐらいでしょうか。
- 2 とみ子さんのはんのいものとりいれの重さは50本についての重さです。(29ページ)
1本についてどれだけといえよいでしょうか。
- 3 さつまいものとりいれと、いねかりについて、まだいろいろ問題があります。
みんなで考えてけいさんしてみましよう。
- 4 いろいろなはかりの、使い方や目もりのしかたなどについてしらべてみましよう。
- 5 つぎのものの重さを知りたいときは、どうしたらよいでしょうか。
 - (1) おべんとうのごはんの重さ。
 - (2) みかん 10個を4人で分けるときのひとり分の重さ。



遠 足



道じゅん

ただし君たちは秋の遠足で、大山とうげへ行くことになりました。

先生が、遠足のけいかくは、これからは自分たちで作るようにしましょうと、おっしゃいました。そして、大山とうげへ行く道じゅんをおしえてくださいました。

道じゅんは、

- (1) 学校から中村えきまで歩く。
- (2) 中村えきから、電車で山田えきへ行く。
- (3) 山田えきから大山とうげまで歩く。
- (4) 帰りもこのとおりの道を歩いてくる。

先生は、

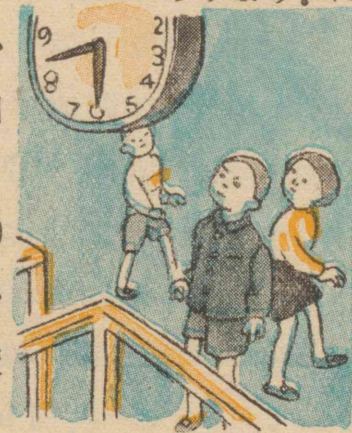
「ここに大山とうげふきんの地図がありますから、これを使って、みんなで考えてごらん下さい。」

とおっしゃいました。

時間のしらべ

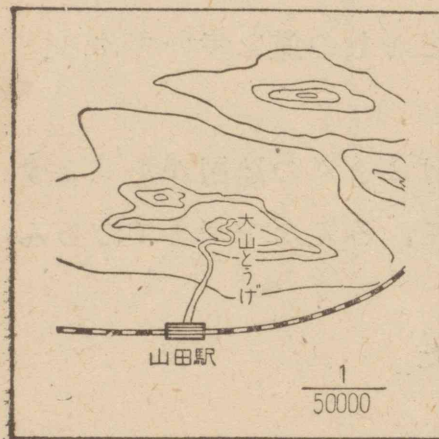
中村えきから学校まで1000 mあります。ただし君たちは、えきから学校まで歩いて時間をはかってみました。

えきの時計が8時30分のときに学校にむかって歩き出して、学校についたとき、学校の



時計は8時48分でした。

1 ただし君たちは、1000m 歩くのに何分
かかったでしょうか。



先生が、
「この地図は
1000 m を 2 cm
にちぢめてあり
ます。小坂えき
からとなりのえ
きまで道のりは、

どのぐらいあるでしょう。」

とたずねられました。

2つのえきの間は 8 cm でした。ただし君
は 8 cm が 2 cm の 4 倍だから、その道のりは
4000 m だと考えました。そのとき、先生が、
「長い道のりをはかるには、キロメートルと
いう単位を使います。1000 m の長さを 1 キロ
メートルといって、1 km と書きます。」

とおっしゃいました。

$$1 \text{ km} = 1000 \text{ m}$$

ただし君は、4000 m は 1000 m の 4 倍だか
ら、2つのえきの間は 4 km といえばよいと
考えました。先生は、

「となりのえきと、そのつぎのえきとの間も
はかってみましょう。」

とおっしゃいました。

その道のりは地図の上で 7 cm ありました。
地図では 2 cm は 1000 m の長さにあたるから、
1 cm は 500 m にあたると考えて、

「3500 m です。いいかえれば 3 km と 500 m です。」
と答えました。すると先生は、

「キロメートルを単位にしていえないでしょ
うか。」

と、またたずねられました。

ただし君はメートルとキロメートルのかん
けいは、グラムとキログラムのかんけいと同

じであるから、3500 m は 3.5 km といえよ
いと考えました。

2 1500 m は何 km と何 m でしょうか。
また何 km といえよでしょうか。

3 1660 m は何 km でしょうか。また 4050
m は何 km でしょうか。

4 この地図で 9 cm の長さは、じっさい
には何 km の道のりをあらわしているこ
とになるでしょうか。

山田えきから大山とうげまでは、地図の上
では 12.4 cm ありました。

5 山田えきから大山とうげまでは何 km
でしょうか。

先生は、このようなときにはおおよそのき
よりでけいさんすればよいので、5.9 km はだ
いたい 6 km, 4.2 km はだいたい 4 km というよ
うにみてよいでしょうと、おっしゃいました。

6 つぎのきよりは、おおよそいくらとみ

ればよいでしょうか。

7.1 km 6.3 km 51.7 km

7 1 km 歩くのに 18 分かかるとすれば、
山田えきから大山とうげまで何分かか
るでしょうか。およそのきよりでけいさん
してみましょう。

8 つぎのけいさんをしましょう。

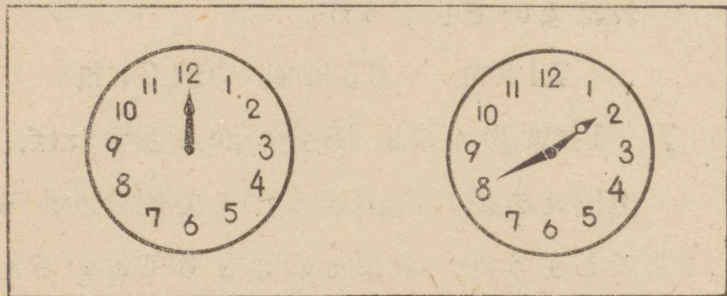
$$\begin{array}{r} 15 \\ \times 5 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 16 \\ \times 4 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 21 \\ \times 8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 65 \\ \times 8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 73 \\ \times 6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 29 \\ \times 7 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 33 \\ \times 6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 86 \\ \times 2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 57 \\ \times 8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 49 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 47 \\ \times 3 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 77 \\ \times 5 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 95 \\ \times 6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 33 \\ \times 9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 58 \\ \times 8 \\ \hline \end{array}$$

100 分は何時間と何分になるでしょうか。

ただし君は時計を見て、12 時から長いほうが
1 まわりすると 60 分だから、100 分ではあと
40 分残り、100 分は 1 時間と 40 分になるこ
とがわかりました。



- 9 108分は何時間と何分でしょうか。つまり、山田えきから大山とうげまで行くのに、時間はいくらかかるでしょうか。
- 10 つぎのけいさんをしましょう。
- (1) 120分は何時間でしょうか。
 - (2) 150分は何時間と何分でしょうか。
- 11 学校から中村えきまでおうふくすれば、時間はいくらかかるでしょうか。
- 12 山田えきから大山とうげまでおうふくすれば、時間はいくらかかるでしょうか。よし子さんは、中村えきへ発車の時こくをしらべに行きました。えきの人に、中村えきから山田えきまでの時間をきいたら、ちょう

ど1時間かかるとおしえてくださいました。

中村えき発車時こく表

		下り 山田行											
一	一	一	一	九	九	八	八	七	七	六	六	五	時
・	・	〇	〇	・	・	・	・	・	・	・	・	・	分
三	〇	三	〇	三	〇	三	〇	三	〇	三	〇	三	
七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	

中村えきから山田行きの電車は30分ごとに出来ます。左の時こく表

でしらべてたしかめましょう。

- 13 7時7分発の電車に乗ると、山田えきには何時何分につくでしょうか。
- 14 山田えきで電車をおりて、すぐ歩き出せば、大山とうげに何時何分につくでしょうか。
- 15 つぎの電車は7時37分発です。30分おくれますから、大山とうげにつくのに30分おそくなります。何時何分につくのでしょうか。

16 8時7分発の電車は、7時7分発の電車より1時間おくれて出ます。大山とうげには何時何分につくでしょうか。

17 中村えきから大山とうげまで、何時間何分かかるでしょうか。



ただし君たちは、8時7分発の電車に乗ることに決めました。そのために学校を7時半に出発することに決めました。

帰りのよていを作るために、えきで電車の出る時こくをしらべました。右の表は、えきの人におしえていただいた時こく表です。

午後1時に大山とうげを出発すると、何時

上り山田発(中村方面行)							
一	一	一	一	一	一	一	時
五	四	四	三	三	二	二	
・	・	・	・	・	・	・	
一	四	一	四	一	四	一	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	分

何分の電車に乗れるかをしらべて、みんなで午後1時に出発することにしました。

18 山田発何時何分の電車に乗れるでしょうか。

19 中村えきにつくのは何時何分でしょうか。

ただし君たちは、このけいかくでよてい表を作りました。わたくしたちも遠足のとき、このようにけいかくをたてて、よてい表を作ってみましょう。

電車ちんのけいさん

中村えきから山田えきまでの電車ちんは、子どもでかた道13回です。ただし君の組で遠足に行く人は48人です。電車ちんはみんなでいくらになるかをけいさんしてみました。ただし君は、48人を40人と8人に分けてけいさんしました。

まず、40人分の電車ちんを求めました。40

は4の10倍ですから、13を4倍し、つぎにこれを10倍すればよいと考えました。

けいさんはつぎのようになります。

$$\begin{array}{r} 13 \\ \times 40 \\ \hline 520 \end{array}$$

13×4=52 の5を百の位に、2を十の位に書き、一の位に0を書きます。

つぎに、8人分の電車ちんを求めて520円に加えます。

$$\begin{array}{r} 13 \\ \times 8 \\ \hline 104 \end{array}$$

そして、624円とわかりました。

よし子さんは、このけいさんを1度でするしかたを考えました。

$$\begin{array}{r} 13 \\ \times 48 \\ \hline 104 \\ 520 \\ \hline 624 \end{array}$$

まず、13×8=104 をけいさんします。つぎに、13×40=520 位を正しく合わせて書き、これを加えます。先生は、

「よい考えです。でも、このようなとき520の0は書かないのがふつうです。」

とおっしゃって、つぎのようにおしえてくださいました。

$$\begin{array}{r} 13 \\ \times 48 \\ \hline 104 \\ 52 \\ \hline 624 \end{array}$$

(1) 13と48は一の位、十の位どうしをきちんとかさねます。

(2) 13×8 の答の104は 4を一の位に、0を十の位に、1を百の位のところに書きます。

(3) 13×4 の答の52は2を十の位に、5を百の位のところに書きます。

(4) そして、それぞれの位についてよせざんをします。

このようなけいさんでは、位を正しくそろえて書くことがたいせつです。

1 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 16 \\ \times 3 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 63 \\ \times 18 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 22 \\ \times 15 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 44 \\ \times 27 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 47 \\ \times 26 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 25 \\ \times 73 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 58 \\ \times 19 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 79 \\ \times 45 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 98 \\ \times 76 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 82 \\ \times 68 \\ \hline \end{array}$$

2 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 25 \\ \times 43 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 31 \\ \times 45 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 58 \\ \times 95 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 67 \\ \times 86 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 46 \\ \times 78 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 36 \\ \times 57 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 27 \\ \times 65 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 62 \\ \times 81 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 56 \\ \times 77 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 32 \\ \times 54 \\ \hline \end{array}$$

3 ただし君たちの組48人の電車くんは、
おうふくいくらになるでしょうか。

しごとの手わけ

ただし君たちはそれぞれ手わけして、これからのしごとを進めることにしました。そのためつぎのやくわりをきめました。

こうしょうがかり。ちょうさがかり。
かいけいがかり。

きよし君たちはちょうさがかりとして、遠足のとちゅうにあるいろいろなことをしらべました。

大山とうげには、古いまつの木があって、500年はたっているといわれています。とう

げをこえる道はむかしのかい道で、たくさんのまつの木があったのだそうです。いま128本残っていますが、もとは400本あまりあったのだといいつたえられています。

1 もし400本のまつの木があったとすれば、何本かれたことになるでしょうか。

2 その後まつの木をうえて、わかい木がかい道に420本あるそうです。かい道のまつの木は、古いのと合わせて何本になるでしょうか。



3 とうげのむこうには、さくらの木が220本あります。いま、たくさんのさくらをうえているそうです。

さくらの木を1000本にするには、あとどれだけうえればよいでしょうか。

この単元のまとめ

- 1 1000メートルは、1キロメートルともいい、1kmと書きます。

$$1\text{ km} = 1000\text{ m}$$

- 2 時間や時こくを正かくにいいあらわすには、1分単位まで読みとります。
- 3 えきの時こく表を正かくに読めるようにします。

- 4 2けたの数に2けたの数をかけるときは、まずかけられる数に、かける数の一の位の数をかけ、つぎにかける数の十の位の数をかけて、その2つの答を加えます。

$$\begin{array}{r} 18 \\ \times 23 \\ \hline 54 \\ 36 \\ \hline 414 \end{array}$$

- 5 およその道のりは、1kmを歩く時間からけいさんすることもあります。
- 6 長い道のりをいいあらわすには、5.3kmをおよそ5km、5.8kmをおよそ6kmと考えるとべんりなときがあります。

テスト (一)

- 1 1kmを2cmであらわしてある地図で35cmある道は、じっさいには何キロメートルあるでしょうか。
- 2 1kmを18分で歩く人が21km歩くには、何100分かかるでしょうか。
- 3 上の答は何時間と何分になるでしょうか。60分ずつひいてみましょう。
- 4 よし子さんの組の人数は46人です。1はこ36円のクレヨンが、みんなにはいきゅうされました。お金はぜんたいでいくらになるでしょうか。
- 5 学級会でりんごを買いました。1個16円のりんごを46個買うと、いくらになるでしょうか。
- 6 1たばが12本で35円のまきが15たばはいきゅうになりました。みんなで何本あるでしょうか。またみんなでいくらでしょうか。

テスト (二)

1 つぎのけいさんをしましょう。

$\begin{array}{r} 31 \\ \times 28 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 36 \\ \times 70 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 41 \\ \times 85 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 99 \\ \times 15 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 89 \\ \times 20 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 300 \\ \times 20 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 46 \\ \times 25 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 25 \\ \times 33 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 75 \\ \times 46 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 26 \\ \times 58 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 26 \\ \times 78 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 53 \\ \times 67 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 78 \\ \times 44 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 52 \\ \times 45 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 35 \\ \times 28 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 27 \\ \times 55 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 45 \\ \times 73 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 47 \\ \times 38 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 39 \\ \times 68 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 59 \\ \times 76 \\ \hline \end{array}$

2 つぎのけいさんをしましょう。

$\begin{array}{r} 1250 \\ + 3766 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 2444 \\ + 2537 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 3066 \\ - 2088 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 5169 \\ - 3899 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 2370 \\ + 1421 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 5133 \\ + 2847 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 4317 \\ - 2629 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 2991 \\ - 1327 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 4916 \\ + 5047 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 6296 \\ + 3322 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 6974 \\ - 3285 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 9212 \\ - 5934 \\ \hline \end{array}$

テスト (三)

1 つぎのけいさんをしましょう。

$\begin{array}{r} 15 \\ \times 42 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 16 \\ \times 39 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 27 \\ \times 68 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 38 \\ \times 74 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 40 \\ \times 18 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 26 \\ \times 38 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 24 \\ \times 55 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 65 \\ \times 49 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 64 \\ \times 36 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 81 \\ \times 26 \\ \hline \end{array}$

2 つぎのけいさんをしましょう。

$\begin{array}{r} 1234 \\ + 4577 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 6677 \\ + 1298 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 6518 \\ + 2899 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 7643 \\ + 1978 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 3567 \\ + 2683 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 5136 \\ + 4099 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 4798 \\ + 4653 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 2156 \\ + 4967 \\ \hline \end{array}$

3 つぎのけいさんをしましょう。

$\begin{array}{r} 2315 \\ - 1987 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 5967 \\ - 3978 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 2166 \\ - 1089 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 6750 \\ - 2983 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 7748 \\ - 3568 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 7467 \\ - 2635 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 5673 \\ - 4565 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 5697 \\ - 3479 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 8682 \\ - 6673 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 3468 \\ - 1249 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 6398 \\ - 3576 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 8298 \\ - 4597 \\ \hline \end{array}$

問題 (一)

1 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 8683 \\ +2447 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 3528 \\ +6475 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1657 \\ +5778 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 3481 \\ +4688 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2366 \\ +3999 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5187 \\ +4236 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5432 \\ +2798 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6125 \\ +1883 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2123 \\ 3941 \\ +3587 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4467 \\ 1510 \\ +2369 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 2766 \\ 4181 \\ +3052 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1648 \\ 2231 \\ +3121 \\ \hline \end{array}$$

2 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 43 \\ \times 85 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 64 \\ \times 89 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 27 \\ \times 37 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 56 \\ \times 38 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 49 \\ \times 76 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 83 \\ \times 99 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 47 \\ \times 66 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 63 \\ \times 85 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 19 \\ \times 87 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 26 \\ \times 65 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 56 \\ \times 23 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 35 \\ \times 65 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 86 \\ \times 39 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 96 \\ \times 73 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 66 \\ \times 36 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 39 \\ \times 68 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 53 \\ \times 97 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 37 \\ \times 75 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 87 \\ \times 45 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 55 \\ \times 26 \\ \hline \end{array}$$

問題 (二)

1 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 3795 \\ +2788 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 1783 \\ +6567 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 4399 \\ +5369 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5681 \\ +4319 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 4067 \\ +1243 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 5824 \\ +3206 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7134 \\ +2297 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 3816 \\ +5270 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 7500 \\ -6290 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 7089 \\ -1563 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8207 \\ -5671 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6057 \\ -3501 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5230 \\ -4066 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 6540 \\ -5274 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 9091 \\ -5443 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8165 \\ -5188 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3135 \\ -2612 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 8112 \\ -7996 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 9001 \\ -5312 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 10000 \\ -1065 \\ \hline \end{array}$$

2 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 103 \\ \times 30 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 110 \\ \times 29 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 405 \\ \times 90 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 310 \\ \times 15 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 210 \\ \times 13 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 506 \\ \times 80 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 203 \\ \times 50 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 610 \\ \times 31 \\ \hline \end{array}$$

研 究

1 つぎの時こく表を見て、電車の発車のよ
うすをせつめいしましょう。

上　　り　　山　田　方　面　行														時 分			
中 山	川 島	山 田	川 島	中 山	川 島	山 田	川 島	中 山	川 島	山 田	川 島	中 山	川 島		行 先		
七 一 五	七 〇 八	七 〇 〇	六 五 二	六 四 五	六 三 八	六 三 〇	六 二 五	六 一 五	六 〇 八	六 〇 〇	五 五 二	五 四 五	五 三 八	五 三 〇	五 二 五	五 一 五	五 〇 八

2 つぎのかずはおおよそいくらとみてよい
でしょうか。いくとおりも考えてみましょ
う。

5362 m	4793 m	7318 m
52.1 kg	38.9 kg	26.2 kg
499.8 g	361.3 g	531.7 g
41.8 cm	75.9 cm	32.1 cm
5.31 km	6.92 km	8.24 km



店 し ら べ



お店のしごと

ひろし君は前からおとうさんとやくそくがしてあったので、きょうはいなかへつれて行ってもらうことになりました。

朝早く、町のえきの1番電車に乗りました。こんなに早いから、電車に乗っている人は、さぞ少ないだろうと思っていましたが、乗ってみておどろきました。ひろし君とおとうさ

んがやっとすわれたぐらいです。よく見ると、車内にはいろいろな人が乗っていました。大きなかんに手に手に持つて、長ぐつをはいた人がたくさんいます。おとうさんの話では、魚やさんが市場へ仕入れに行くのだそうです。そういえば、近くの魚やのおじさんも乗っています。こうして魚やさんは、冬の寒い日も毎日朝早く仕入れに行くのだそうです。ひろし君はおとうさんの話をききながら、魚やさんもなかなかたいへんだなと思いました。

魚やさん

魚やさんは、市場からどんな品物を、どれぐらいで買って、どれぐらいで売るのでしょ

みんなは、まさお君にきくことにしました。まさお君の家は魚やさんです。下の表は、まさお君からきいた品物の名と、そのねだんをしめしたものです。

品物	仕入れねだん	賣りね
まぐろ	375g(100め)につき 37.5円	375g(100め)につき 43.5円
れんこだい	35.0	41.0
ぶり	32.0	37.0
めかじき	31.5	36.8
ばしょうかじき	26.6	31.5

1 これらの魚を 375g 賣ると、魚やさんのもうけはいくらになるでしょうか。

375g のことを 100 めともいいます。

まさお君の家では、きょうぶりを 1 けんにつき 500 めずつ、23 げんにはいきゅうしました。まさお君は賣上がいくらになるかをしらべました。まず、1 けんの家の代金は、
 $37 \text{円} \times 5 = 185 \text{円}$ ですから、23 げんでは、

185 円 $\times 23$ をけいさんすればよいと考えました。

185 $\times 23$ のけいさんは、
右のように、まず、 185×3 の 555 を一の位の 5 が 3 の下にくるように書き、 185×2 の 370 を、一の位の 0 が 23 の 2 の下にくるように書き、これらをよせます。

$$\begin{array}{r} 185 \\ \times 23 \\ \hline 555 \\ 370 \\ \hline 4255 \end{array}$$

このようにして、はいきゅうの賣上は、4255 円となります。

つぎに、 23×185 をけいさんしてみましょう。右は、そのけいさんをしめしたものです。このしかたを考えましょう。

$$\begin{array}{r} 23 \\ \times 185 \\ \hline 115 \\ 184 \\ 23 \\ \hline 4255 \end{array}$$

このけいさんでわかるように、かけざんでは、かけられる数とかける数をはんたいにしても、答はかわりません。

$$\begin{array}{r} 13 \\ \times 708 \\ \hline 104 \\ 910 \\ \hline 9204 \end{array}$$

左のようなけいさんをするときは、まず8と13をかけて答104を8のま下から書きはじめます。13に0をかけても

答は0です。つぎに7と13をかけ、その答91を7のま下から書きはじめます。

2 このはいきゅうでもうけはどれだけあるでしょうか。

3 もし、1でぶりを1しょたいに300めずつはいきゅうすると、賣上の代金は、いくらになるでしょうか。また、もうけはいくらになるでしょうか。

4 もし、1でれんこだいを1しょたいに400めずつはいきゅうすると、もうけはいくらになるでしょうか。

5 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 105 \\ \times 43 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 308 \\ \times 62 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 507 \\ \times 87 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 706 \\ \times 53 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 219 \\ \times 54 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 437 \\ \times 22 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 562 \\ \times 43 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 641 \\ \times 97 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 56 \\ \times 408 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 32 \\ \times 235 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 83 \\ \times 348 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 38 \\ \times 435 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 64 \\ \times 419 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 56 \\ \times 972 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 78 \\ \times 318 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 56 \\ \times 385 \\ \hline \end{array}$$

賣上のせいり

まぐろのはいきゅうがおわったので、まさお君はおとうさんといっしょに、賣ったお金のせいりをしています。

はじめ、まさお君のおとうさんは仕入れてきたまぐろのめかたをはかって、

「これだけで、じゅうぶん325人分はとれる。1きれのねだんは14回にすればよいだろう。」と言っておられました。

しかし、まさお君がしらべてみると、じっさいの賣上は4452回で、あとに品物はすこしも残っていませんでした。

1 もし、325人分をはいきゅうしたとすれば、売上はいくらになるでしょうか。仕入れねだんでは1きれ12.5円だそうです。もうけはいくらになるでしょうか。

2 これはじっさいの売上高と、どれぐらいのちがいがあのでしょうか。

まさお君は売上高のよていと、じっさいとがちがうことについて、おとうさんといろいろ話し合いました。

おとうさんの話では、品物がくさっていたり、切りこみすぎたりするために、どうしてもよていした売上高のおりにはならないということでした。

3 同じ品物を、(イ)、(ロ)2つの店で、どちらも15円で仕入れました。つぎの表は2つの店の売りねと、売れた個数をしめたものです。

どちらの店のもうけが多いでしょうか。

店	1個の売りね	売った個数
(イ) の店	13円	50個
(ロ) の店	17円	100個

4 ある食料品店で、りんごジャムを1個38円30銭で100個仕入れました。これを1個41円50銭で売ると10日間で売り切れ、1個40円で売ると5日間で売り切れました。1日のもうけは、どちらの方が多のでしょうか。

とも子さんの家はくだものやです。とも子さんはりんごとみかんの売上を、つぎのような表にまとめました。

品物	仕入れねだん	売りね	売れた数	売上
りんご	1個 9円	11円	68個	
みかん	1山 24.5円	30円	16山	
りんご	1山 16.5円	20円	80山	
みかん	1はこ 358円	410円	7はこ	
りんご	1個 12円	15円	28個	

とも子さんはこの表をみながら、つぎのよ
うなことをしらべてみました。

5 1個9円のりんごと1個12円のりんご
の売れた数は、いくつちがうでしょうか。

6 1個12円のりんごは、あと14個しかあ
りません。あしたもきょうと同じ数賣れ
るとすれば、あといくつはこれから出して
おけばよいでしょうか。

みかんのはこは、はじめ94はこありました
が、いまでは
18はこしか残
っていません。
いままでに賣
れたみかんの



はこはいくつでしょうか。考えてみましょう

7 1山30円のはうのみかんは、213山分
できるだけありましたが、106山分賣れ
ました。あといく山分できるだけ残って

いるでしょうか。

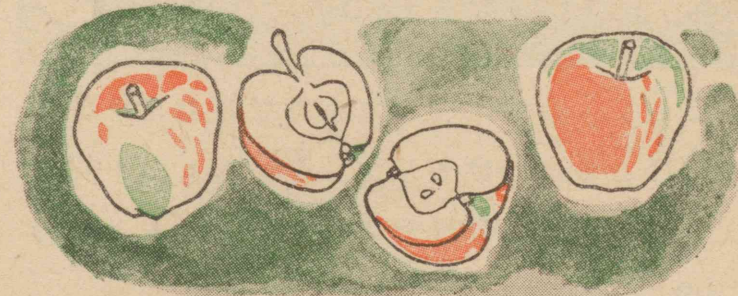
とも子さんはこのようなことを考えている
うちに、同じひきざんでもいろいろな場合が
あるものだと気がつきました。

わたくしたちも考えてみましょう。

8 みかんとりんごの賣上は、ぜんぶでど
れだけでしょうか。

9 もうけはどれだけでしょうか。

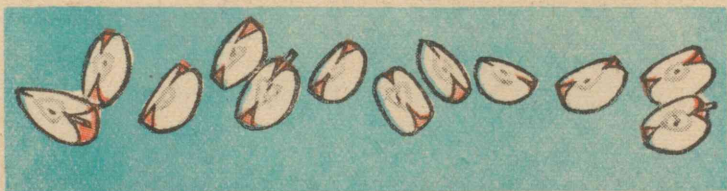
とも子さんはおかあさんからりんごを3つ
いただきました。とも子さんはこのりんごを
弟とふたりでなかよく同じように分けようと
思いました。まず1個ずつ分けて、つぎに残
りの1個を同じ大きさの2つに分けました。



1つのものを同じ大きさの2つに分けたその1つを、もとの大きさにくらべて“2分の1”といい、 $\frac{1}{2}$ とも書きます。

とも子さんはりんごを1個と $\frac{1}{2}$ 個ずつ分けたことになりました。そのとき、となりのまさ子さんが妹をつれてあそびにきました。

とも子さんはいま弟と分けたりんごを、まさ子さんたちにも分けてあげようと思いました。3つのりんごを4人で分けるにはどうすればよいかを考えて、とも子さんはどのりんごも同じ大きさの4つに切りました。



そして、4つに切った小さなりんごを3つずつひとりに分けました。1つのものを同じ大きさの4つに分けた1つをもとの大きさの“4分の1”といい、 $\frac{1}{4}$ とも書きます。

とも子さんたちは、 $\frac{1}{4}$ のりんごを3つずつ分けたことになります。 $\frac{1}{4}$ の3個は4分の3と書いて $\frac{3}{4}$ と書きます。

10 1つのりんごを3つに分けた1つは、何といえよいでしょうか。

11 1つのりんごを5つに分けた1つは、何といえよいでしょうか。

12 みかんの中にふくろが10ありました。

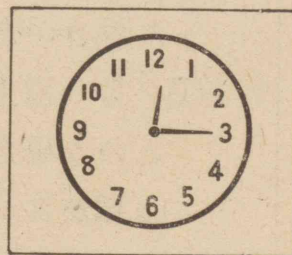


ふくろ1つは、1つのみかんの何分のいくつにあたるでしょうか。

ふくろ3つではどうでしょうか。またこれは $\frac{1}{10}$ の何倍といえよいでしょうか。

13 12時から12時15分ま

でのあいだに時計の長いはりがまわる角は、1時間にまわる角の何分の1でしょうか。



この単元のまとめ

1 3けたの数に2けたの数をかけたり、

2けたの数に3けたの数をかけたり	$\begin{array}{r} 185 \\ \times 23 \\ \hline 370 \\ 4255 \end{array}$	$\begin{array}{r} 23 \\ \times 185 \\ \hline 115 \\ 184 \\ 4255 \end{array}$
------------------	---	--

するときは、右のようにします。

2 24×203 のように、かける数また

はかけられる数の中に0のはいっている場合は、どんな

数に0をかけても	$\begin{array}{r} 240 \\ \times 23 \\ \hline 720 \\ 480 \\ 5520 \end{array}$	$\begin{array}{r} 24 \\ \times 203 \\ \hline 72 \\ 480 \\ 4872 \end{array}$
----------	--	---

答は0ですから、右のようにけいさんします。

3 ひきざんをするときには、つぎのような場合があります。

(1) 2つ以上の数がどれだけちがうかという場合。たとえば、2つの数20と12がどれだけちがうかというとき、

$20 - 12 = 8$ とします。

(2) ぜんたいとその1部の数を知っていて、あとどれだけあるかという場合。たとえば、ぜんたいの数を30、その1部の数を6とすれば、あとどれだけかを知るには、 $30 - 6 = 24$ とします。

(3) ある数があつて、どれだけ小さくなったかという場合。また、どれだけ残っているかという場合。たとえば、35が30になったとき、どれだけ小さくなったかを知るには、 $35 - 30 = 5$ とします。また35が5だけ小さくなりあとどれだけ残っているかを知るには、 $35 - 5 = 30$ とします。

4 1つのものを同じ大きさの2つに分けた1つをもとの大きさにくらべて、“2分の1”といい、 $\frac{1}{2}$ と書きます。

テスト (一)

1 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 338 \\ \times 24 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 215 \\ \times 43 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 294 \\ \times 21 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 308 \\ \times 23 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 203 \\ \times 47 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 360 \\ \times 21 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 523 \\ \times 15 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 324 \\ \times 37 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 239 \\ \times 48 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 154 \\ \times 59 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 253 \\ \times 32 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 344 \\ \times 22 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 140 \\ \times 70 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 390 \\ \times 40 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 209 \\ \times 40 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 400 \\ \times 30 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 207 \\ \times 50 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 210 \\ \times 48 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 407 \\ \times 50 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 109 \\ \times 90 \\ \hline \end{array}$$

2 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 26 \\ \times 472 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 24 \\ \times 283 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 32 \\ \times 295 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 46 \\ \times 254 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 57 \\ \times 257 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 35 \\ \times 372 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 19 \\ \times 475 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 28 \\ \times 419 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 72 \\ \times 138 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 81 \\ \times 132 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 27 \\ \times 546 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 70 \\ \times 128 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 60 \\ \times 168 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 50 \\ \times 195 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 20 \\ \times 600 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 30 \\ \times 256 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 35 \\ \times 408 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 66 \\ \times 207 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 13 \\ \times 808 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 59 \\ \times 308 \\ \hline \end{array}$$

テスト (二)

1 4 m の $\frac{1}{2}$ は何 m でしょうか。また $\frac{1}{4}$ は何 m でしょうか。

2 1 kg の $\frac{1}{2}$ は何 g でしょうか。

3 30 の $\frac{1}{3}$ は、いくらでしょうか。

40 の $\frac{1}{4}$ は、いくらでしょうか。

80 の $\frac{1}{4}$ は、いくらでしょうか。

42 の $\frac{1}{3}$ は、いくらでしょうか。

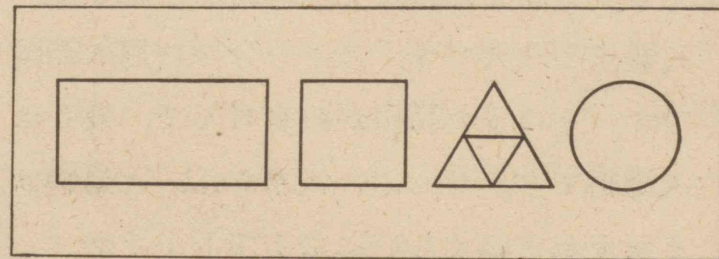
96 の $\frac{1}{3}$ は、いくらでしょうか。

4 200 の $\frac{1}{2}$ は、いくらでしょうか。

450 の $\frac{1}{5}$ は、いくらでしょうか。

320 の $\frac{1}{4}$ は、いくらでしょうか。

5 つぎの形を紙にかいて、その $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ をクレヨンでぬりましょう。



問題 (一)

1 みかんの1はこを1500円で仕入れました。これを山づみにしたら42できました。1山40円で賣ると、このもうけはいくらになるでしょうか。

2 よし子さんの学校では、2月分のきゅう食ひを集めることになりました。左の表は

学 年	きゅう食ひ	人 数
1, 2年	50円	259人
3, 4	55	324
5, 6	60	36

学年別のひとり分のきゅう食ひです。

1, 2年のきゅう食ひはみんなでいくら

でしょうか。3, 4年, 5, 6年はそれぞれいくらでしょうか。

3 4年生がぜんぶで見学に出かけました。人数は169人です。ひとり分のひ用は25円です。そのうち18円が汽車ちんで、残りは入場料です。ぜんぶの汽車ちん、入場料はそれぞれどのくらいになるでしょうか。

問題 (二)

1 ひろし君の組で、12月分の学用品ひを集めました。ひとり分が7円80銭です。組の人数は52人です。ぜんぶ集めるといくらになるでしょうか。

2 下の表は、学校でバザーを開いたときの賣れた品物のねだんと個数です。

品 物	賣りね	個 数	仕入れねだん
湯のみちゃわん	35円	240個	32円
にんぎょう	58	130個	55
く つ し た	210	18そく	197

それぞれの品物について、賣上高ともうけをけいさんしてみましょう。

3 ある会社に事務員が27人います。ひとりの日きゅうは100円のわりあいだそうです。今月はみんな26日間はたらきました。事務員ぜんたいにはらう今月のきゅう料は、いくらになるでしょうか。

問題 (三)

1 つぎの表は、ある工場の工員の日きゅうと人数をしめしたものです。工員の日きゅう

日きゅう	人 数
100円	5人
125	8
150	10
175	15
200	9
225	7
250	4

うはみんなでいくらになるでしょうか。

2 しげる君の家から停車場まで、1時間に3kmのわりあいでは歩けば2.5時間かかります。4kmの速さで歩けばおよそ何時間かかるでしょうか。

3 あきら君が自分の家から学校までのきょうりをはかると935歩ありました。あきら君の1歩の歩はばは64cmです。あきら君の家から学校まで、どのくらいあるでしょうか。

4

$\begin{array}{r} \square 2 \square \\ \times \square 4 \\ \hline 2 \square 9 \square \\ \square 2 \square \\ \hline 7 3 3 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 3 2 \square \\ \times \square 3 \\ \hline \square \square 4 \\ \square 5 6 \\ \hline \square \square \square \square \end{array}$	$\begin{array}{r} 1 \square 5 \\ \times 6 \square \\ \hline 4 3 5 \\ \square \square \square \\ \hline 9 1 3 5 \end{array}$
---	---	---

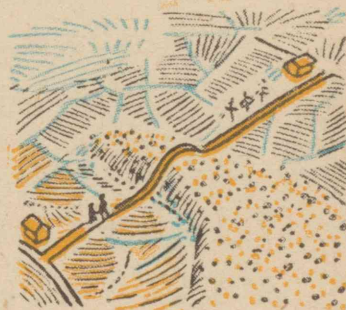
研 究

1 よし子さんはおかあさんといっしょに、おじさんの家に行きました。とちゅうのおかの上まできたとき、おかあさんが、「もう3分の1きましたよ。」

とおっしゃいました。

(1) あとどれだけあるでしょうか。

おかをこえてしばらく行くと、まつ林



がありました。おかあさんが、

「あと4分の1ぐらいでしょう。」

とおっしゃいました。

(2) そこまでにどれだけ歩いたでしょうか。

よし子さんは残りの4分の1は、どのくらいの道のりかを歩く時間ではかってみようと思って、おかあさんの時計を見ました。よし子さんはふつうに歩くと、1分間にお

よそ80m歩きます。まつ林からおじさんの家まで5分かかりました。

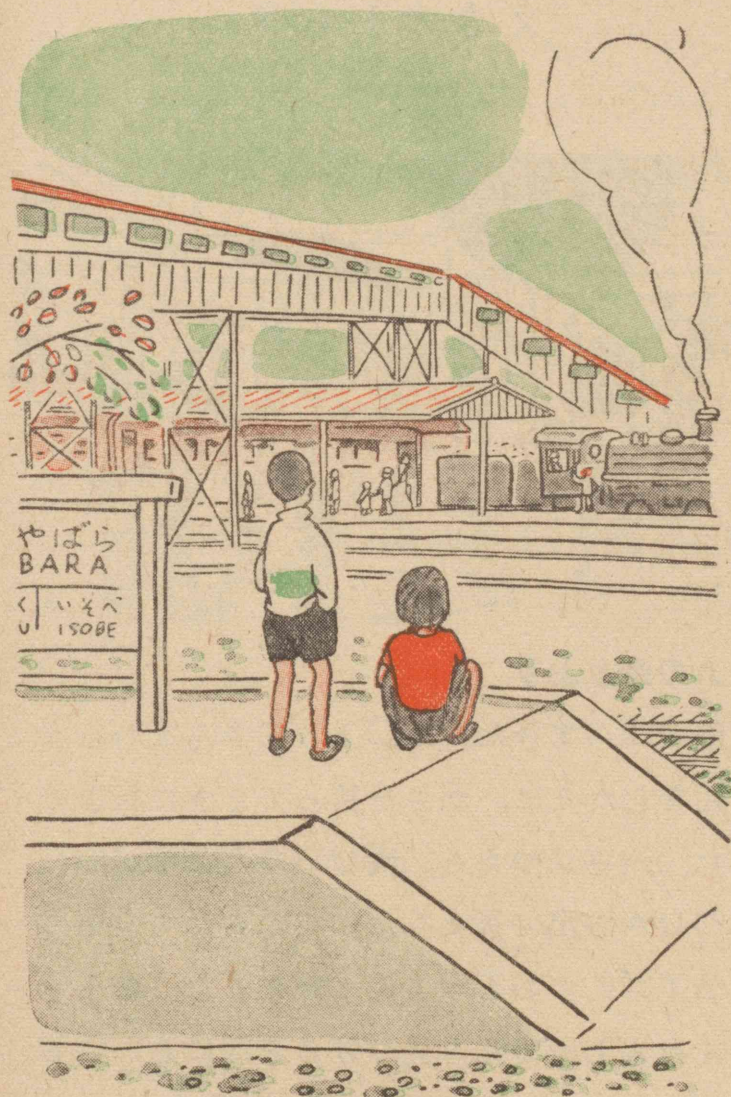
(3) まつ林からおじさんの家まで、何mぐらいあるといえましょうか。

(4) まつ林からおじさんの家までの道のりをもとにすると、よし子さんの家からおじさんの家までは何mでしょう。

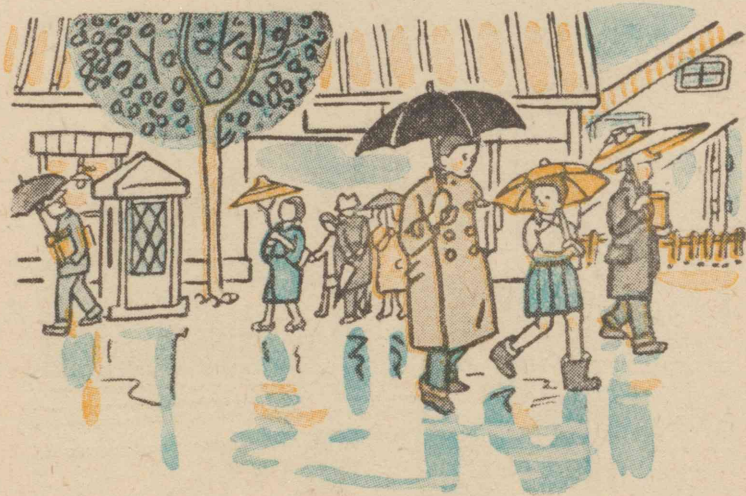
2 よし子さんは、おじさんの家のあき子さんとゆき子さんと3人であそびました。おじさんから同じ長さのひもをもらいました。よし子さんは、そのひもの2分の1であやとりをしました。あき子さんはそのひもの3分の1だけ、ゆき子さんは4分の1だけ使いました。

(1) だれがいちばん多く使ったでしょう。

(2) めいめいの残っているひもの長さは、どれだけの長さでしょう。短い方から、じゅんに書いてみましょう。



えきのしらべ



人の乗りおり

雨がふってきたので、よし子さんはおとうさんをむかえに、かさを持ってえきに行きました。汽車がつくと、大ぜいの人たちがかいさつ口から出てきました。その人たちの中によし子さんのおとうさんもいました。おとうさんはよし子さんを見つけると、にこにこしながら、

「ごくろうさん。たいへんだったろう。」

とおっしゃいました。よし子さんはそのときおとうさんの顔を見て、ふしぎそうにたずねました。

「おとうさん、この寒いのにすいぶんあせをおかきになっていらっしゃるね。」

「そうか、あせをかいているかい。とてもこんでいたからね。でも、このごろはだいぶよくなったのだよ。前にくらべると汽車の台数もふえて、いくらからくに乗れるようになったよ。」

おとうさんはそう言ってから声を出してわらいました。

「そんなに汽車の台数がふえましたか。」

よし子さんはおとうさんにたずねました。

「ああ、ふえたよ。ことに朝ばんのこみあう時間には、前にくらべると、少なくとも1,2本はふえているだろうね。」

よし子さんはふとそのとき、おとうさんのお話から、いったい朝のこみあう時間には、何台ぐらいの汽車が出るかをしらべてみようと思いつきました。よし子さんはおとうさんにそのことを話しました。おとうさんは

「それはよい思いつきだ。ついでに言うておくが、それをしらべるときに、えき長さんに、毎朝こみあう時間には何人ぐらいの人が乗るかをたずねてごらんなさい。そうすれば、だいたいこのえきからかよっている人たちのかすがわかるし、また、町のようすを知るのにたいへん役だつからね。」

とおっしゃいました。

よし子さんはつぎの朝、しらべに出かけました。

えき長さんはたいへんいそがしいようすでしたが、よし子さんがいろいろたずねると、しんせつにおしえてくださいました。えき長

さんは

「なかなかかんしんですね。ちょうどあなたに見せるとよいようなしらべがありますよ。さあ、この表をごらんなさい。」

とにこにこしながら言って、ひき出しの中から大きなちょうめんを取り出し、よし子さんに見せてくださいました。

「ほら、これですよ。これは2月10日のしらべですがね。これを見ると、朝のこみあう時間ばかりでなく、10日に乗りおりした人たちのかすがすっかりわかりますよ。」

その表はつぎのように書いてありました。

このえきから乗った人数（8時30分まで）					
上り	1 番列車	39 人	下り	1 番列車	22 人
	2 番列車	128		2 番列車	43
	3 番列車	346		3 番列車	85
	4 番列車	280		4 番列車	49

このえきにおりた人数(8時30分まで)					
上り	1 番列車	61 人	下り	1 番列車	21 人
	2 番列車	182		2 番列車	67
	3 番列車	314		3 番列車	96
	4 番列車	436		4 番列車	143

よし子さんは学校から帰ると、えきでしらべたことについて、いろいろ考えてみました。

このえきから汽車に乗った人数は何人だろうか、また、汽車の数は8本ですから、1汽車にだいたい何人ぐらい乗ったといえよいかと考えてみました。乗った人数は

$$39人 + 128人 + 346人 + 280人$$

$$+ 22人 + 43人 + 85人 + 49人 = 992人$$

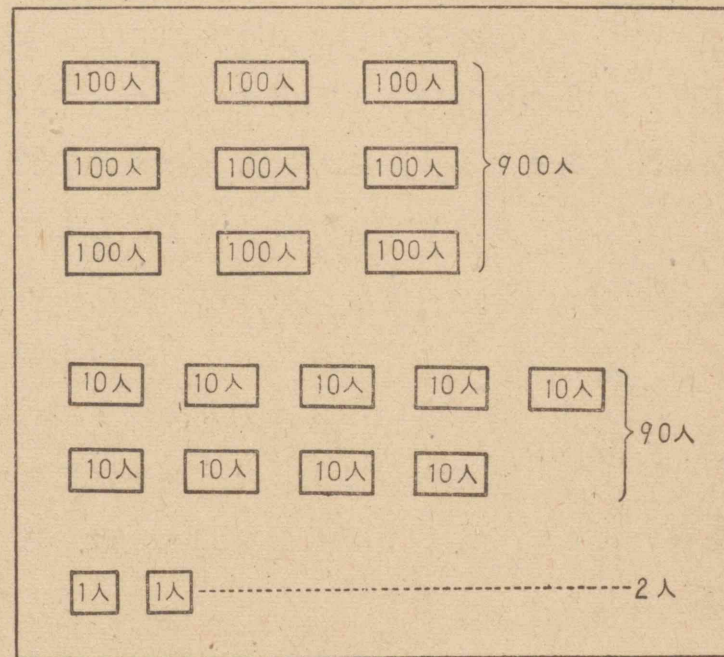
です。それで、992を8でわればよいとわかりました。

つぎのけいさんをしてみましょう。

$$992 \div 8$$

$$992人 = 900人 + 90人 + 2人$$

です。



900人を8つに分けると1つが100人ずつとなり、なお100人あまります。だからこのあまった100人と90人をよせて、190人をもう1度8つに分けてみましょう。これをつぎのようにけいさんして書くことにしましょう。

$$\begin{array}{r} 1 \\ 8 \overline{)992} \\ 8 \\ \hline 19 \end{array}$$

いちばん上の1は100人ずつ分けたことを書いたものです。1ばん下の19は190人のことです。

190人を8つに分けると20人ずつとなつて、なお30人あまります。これに2人をよせて32

$$\begin{array}{r} 12 \\ 8 \overline{)992} \\ 8 \\ \hline 19 \\ 16 \\ \hline 32 \end{array}$$

人を8つに分けるとよいことになります。これを左のように書くことにしましょう。上の1の右に書いた2は20人ずつ1つによせられて120人となったことを

書いたものです。1ばん下の32はこれから分ける32人のことです。

$$\begin{array}{r} 124 \\ 8 \overline{)992} \\ 8 \\ \hline 19 \\ 16 \\ \hline 32 \\ 32 \\ \hline 0 \end{array}$$

この32人を8つに分けると1つが4人ずつとなつて、うまく分かれてしまいます。これを左のように書きます。1ばん上に書いた124は1つの人数124人をあらわします。下の0はもう

あまりがないことをあらわしています。だから

$$992 \div 8 = 124$$

となります。

このけいさんのしかたをまとめると、

- (1) 992の百の位の9を8でわって、答1を立て、あまり1となる。
- (2) あまりの1の右へ992の十の位の9をおろして書き加え、19とする。
- (3) 19を8でわって、答の2をさきの答の1の右へ書く。いちばん上は12となる。このときのあまりは3となる。
- (4) 3の右へ992の一の位の2をおろして書き加え、32とする。
- (5) 32を8でわって答の4をいちばん上の12の右はしへ書き加え、124とする。このときのあまりは0となって、わりきれぬ。

(6) 答は 124 となる。

また、いねかりのところでしたように、つぎのとおりかたんに書くのがふつうです。

$$\begin{array}{r} 124 \\ 8 \overline{)992} \\ \underline{13} \end{array}$$

992 の百の位の 9 を 8 でわって
 答 1 を上へ書き、9 から 8 をひいた 1 を 9 の下に書きます。この 1 と十の位の 9 とをななめに

見て 19 とし、これを 8 でわって答に 2 を書き、19 から 16 をひいたのこりの 3 を十の位の 9 の下に書きます。この 3 と 992 の 2 とをななめに
 見て 32 とし、8 でわって答 4 を書きます。
 また、いねかりのところでしたように、のこりの 1 や 3 は書かないで、あんざんでしてもよいでしょう。

1 つぎのけいさんをしましょう。

$2 \overline{)428}$	$2 \overline{)578}$	$3 \overline{)735}$
$3 \overline{)591}$	$4 \overline{)728}$	$5 \overline{)825}$
$6 \overline{)774}$	$7 \overline{)812}$	$8 \overline{)816}$

2 つぎのけいさんを 3 つのしかたでしましょう。

$\begin{array}{r} 89 \\ 2 \overline{)178} \\ \underline{1} \end{array}$	$\begin{array}{r} 89 \\ 2 \overline{)178} \\ \underline{16} \\ 18 \\ \underline{18} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 89 \\ 2 \overline{)178} \end{array}$
$3 \overline{)258}$	$4 \overline{)264}$	$5 \overline{)375}$
$6 \overline{)432}$	$7 \overline{)595}$	$8 \overline{)448}$

よし子さんは、おりた人の数が 1 つの汽車で何人ぐらいのわりになるかもけいさんしました。けいさんのしかたは前とかわりません。

つぎのけいさんのしかたをせつめいしてみましょう。

$\begin{array}{r} 165 \\ 8 \overline{)1320} \\ \underline{54} \end{array}$	$\begin{array}{r} 165 \\ 8 \overline{)1320} \\ \underline{8} \\ 52 \\ \underline{48} \\ 40 \\ \underline{40} \\ 0 \end{array}$
--	--

答は 165 人です。

3 つぎのけいさんをしましょう。

$$2\overline{)4628} \quad 3\overline{)6939} \quad 4\overline{)1204}$$

$$5\overline{)5100} \quad 6\overline{)1266} \quad 3\overline{)2463}$$

4 つぎのけいさんをしましょう。

$$2\overline{)1256} \quad 3\overline{)2154} \quad 4\overline{)3836}$$

$$5\overline{)8615} \quad 6\overline{)5352} \quad 7\overline{)1512}$$

$$8\overline{)2936} \quad 4\overline{)9748} \quad 9\overline{)7119}$$

$$7\overline{)7392} \quad 6\overline{)4134} \quad 8\overline{)6920}$$

にもつのしらべ

よし子さんは、えきでかもつ列車についてしらべました。1日に、のぼり、くだりとも2列車ずつで、4かいにもつのつみおろしがあります。

きのう1日でつみおろしたにもつの数は、合わせて538個でした。よし子さんは、1回のかもつ列車でだいたい何個ぐらいずつ、つみおろしすることになるか、けいさんしてみようと思いました。

いままでと同じしかたでけいさんすると、答は134となって、さいごに2あまりあります。これを



$$538 \div 4 = 134 \cdots 2$$

と書くことにしましょう。

$$\begin{array}{r} 134 \cdots 2 \\ 4 \overline{)538} \\ \underline{11} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 134 \\ 4 \overline{)538} \\ \underline{4} \\ 13 \\ \underline{12} \\ 18 \\ \underline{16} \\ 2 \end{array}$$

1回のつみおろしは、およそ134個ぐらいとなります。上のしかたでは、答134の右に点線をひいて書いた2があまりです。

1 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 2 \overline{)357} \\ 3 \overline{)791} \\ 5 \overline{)682} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 6 \overline{)718} \\ 7 \overline{)526} \\ 8 \overline{)426} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5 \overline{)521} \\ 9 \overline{)388} \\ 4 \overline{)279} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 9 \overline{)6214} \\ 4 \overline{)1269} \\ 5 \overline{)3824} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 7 \overline{)1657} \\ 8 \overline{)6135} \\ 9 \overline{)8254} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 9 \overline{)2715} \\ 6 \overline{)5213} \\ 3 \overline{)9983} \end{array}$$

うんちんのしらべ

よし子さんは、えきでうんちんの表を見せていただきました。

km	円	km	円
1—4	3	48—52	45
5—7	5	53—61	50
8—9	8	62—72	60
10—12	10	73—83	70
13—15	13	84—94	80
16—18	15	95—105	90
19—21	18	106—122	100

22—24	20	123—144	120
25—30	25	145—173	140
31—36	30	174—203	160
37—41	35	204—234	180
42—47	40	235—265	200

上の表から、つぎのことを考えましょう。



- 1 11kmはなれたえきへ行くとき、いくらうんちんがかかるでしょうか。
- 2 25kmのところへはいくらかかるでしょうか。

- 3 100円では何 km はなれたところまで行けるでしょうか。
- 4 よし子さんの町からおばさんの町までは、33.7 km あります。汽車ちんはいくらかかるでしょうか。

5 朝7時36分の汽車で、28.4 kmあるえきまでのきっぷの賣上数は32まいありました。よし子さんは、このきっぷの賣上高をけいさんしました。

わたくしたちもけいさんしましょう。

6 20.3 kmあるえきまでのきっぷが、53まい賣れています。このきっぷの賣上高はいくらでしょうか。

7 つぎのけいさんをしましょう。

$\begin{array}{r} 13 \\ \times 32 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 26 \\ \times 12 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 38 \\ \times 14 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 27 \\ \times 15 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 25 \\ \times 21 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 24 \\ \times 27 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 26 \\ \times 28 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 23 \\ \times 29 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 28 \\ \times 235 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 35 \\ \times 418 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 43 \\ \times 156 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 34 \\ \times 372 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 22 \\ \times 187 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 19 \\ \times 573 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 54 \\ \times 271 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 48 \\ \times 451 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 49 \\ \times 231 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 61 \\ \times 387 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 79 \\ \times 133 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 87 \\ \times 334 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 83 \\ \times 714 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 92 \\ \times 432 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 36 \\ \times 625 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 72 \\ \times 851 \\ \hline \end{array}$

この単元のまとめ

1 3けたの数を1けたの数でわるときは、つぎのようにけいさんします。

$$\begin{array}{r} 138 \\ 6 \overline{)828} \\ 24 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 138 \\ 6 \overline{)828} \end{array}$$

2 あまりのあるときは、つぎのように書きます。

$$\begin{array}{r} 128 \dots\dots 1 \\ 4 \overline{)513} \\ 13 \end{array}$$

3 4けたの数を1けたの数でわるときには、2けたや3けたの数を1けたの数でわると同じ考え方でけいさんします。

4 にもつをおくるときには、うんちん表を見て、そのもののうんちんをけいさんできるようにしましょう。

テスト (一)

- 1 よし子さんの町のえきで、926個のものつを4日間でつみ出すのだそうです。1日いくつつみ出せばよいでしょうか。
- 2 1136人が、8つつないだ汽車に分かれて乗っています。1りょうに何人乗っているとみればよいでしょうか。
- 3 つぎのけいさんをしましょう。

$\overline{2)778}$	$\overline{2)918}$	$\overline{3)561}$
$\overline{3)275}$	$\overline{4)637}$	$\overline{4)716}$
$\overline{5)3575}$	$\overline{5)6120}$	$\overline{6)4722}$
$\overline{4)3713}$	$\overline{7)2917}$	$\overline{8)8429}$
$\overline{3)2374}$	$\overline{9)5715}$	$\overline{7)1722}$
$\overline{7)1971}$	$\overline{6)9370}$	$\overline{4)8874}$

テスト (二)

- 1 152 km ある町までの汽車ちんはいくらでしょうか。前の表でしらべましょう。
- 2 その町までのきっぷが67まい賣り出されました。お金はいくらとなるでしょうか。
- 3 よし子さんは 33.7 km あるおばさんの町まで、にいさんと妹と3人で行きました。よし子さんと妹は半がくです。みんなでいくらはらったでしょうか。
- 4 つぎのけいさんをしましょう。

$\begin{array}{r} 260 \\ \times 37 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 520 \\ \times 18 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 740 \\ \times 25 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 430 \\ \times 18 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 380 \\ \times 49 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 430 \\ \times 52 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 610 \\ \times 76 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 550 \\ \times 89 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 13 \\ \times 235 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 27 \\ \times 151 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 57 \\ \times 372 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 45 \\ \times 619 \\ \hline \end{array}$
$\begin{array}{r} 29 \\ \times 184 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 32 \\ \times 423 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 91 \\ \times 614 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{r} 82 \\ \times 278 \\ \hline \end{array}$

問題 (一)

1 つぎのけいさんをしましょう。

$228 \div 6$ $291 \div 3$ $268 \div 4$

$625 \div 5$ $387 \div 3$ $296 \div 4$

$864 \div 6$ $632 \div 2$ $576 \div 4$

$656 \div 8$ $496 \div 8$ $596 \div 4$

$584 \div 8$ $370 \div 5$ $679 \div 7$

$798 \div 7$ $873 \div 9$ $975 \div 5$

2 つぎのけいさんをしましょう。

$2176 \div 8$ $2254 \div 7$ $6148 \div 4$

$3595 \div 5$ $7389 \div 9$ $3668 \div 7$

$6155 \div 6$ $5174 \div 6$ $6537 \div 4$

$2866 \div 8$ $6302 \div 7$ $1808 \div 5$

$4371 \div 9$ $3243 \div 2$ $6734 \div 6$

3 はるお君は学校から本やさんまで、326歩で歩きました。1歩の長さが66cmあります。何m歩いたのでしょうか。

問題 (二)

1 つぎのけいさんをしましょう。

24×31 15×41 76×11 16×18

43×19 42×12 62×31 52×21

45×11 37×21 150×9 120×21

18×12 28×19 85×11 320×11

2 よし子さんは、にもつのうんちんをしらべました。下の表を見て、つぎのことをしらべましょう。

(1) 28kgのにもつを1250kmのところへ

重さ	10kg	20kg	30kg	40kg	50kg	以上
きより	500km	1000km	1500km	2000km	2500km	3000km
まで	50円	100円	150円	200円	250円	50円
まで	75	150	225	300	375	75
まで	100	200	300	400	500	100
まで	125	250	375	500	625	125
まで	150	300	450	600	725	150
まで	175	350	525	700	875	175
以上500km ますことに	25	50	75	100	125	

(昭和24年1月げんざい)

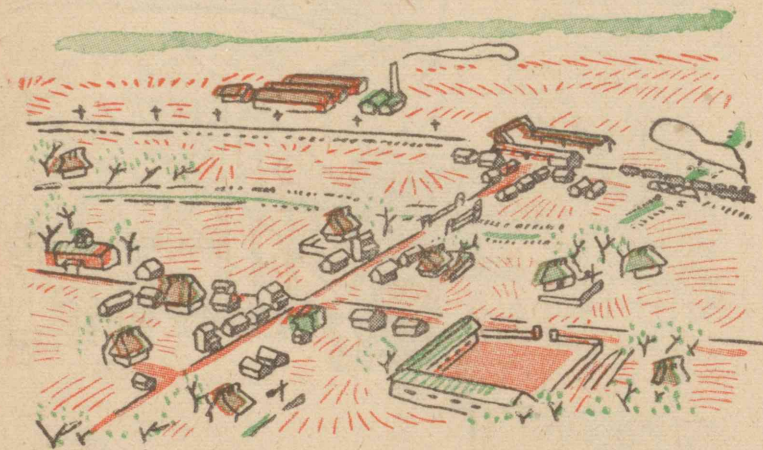
送るうんちん。
(2) 45kgのにもつを、2360kmのところへ送るうんちん。

研究

- 1 480 km はなれたところへ、50 kg のにもつを92個送りました。うんちはいくらはらったでしょうか。
- 2 900 km はなれたところへ、80 kg のにもつを送るには、いくらかかるでしょうか。前の表からどうしてけいさんすればよいかを考えましょう。
- 3 3700 km はなれたところへ、38 kg のにもつを送るには、いくらかかるでしょうか。前の表から、どうしてけいさんすればよいでしょうか。
- 4 50 kg のこにもつ3個と、4 kg のにもつ12個を、3200 km はなれたところへ送りました。うんちはいくらかかったでしょうか。
- 5 7kgのみかんのこぼこ18個と、30kgの大ぼこ4個を、100kmはなれたところへ送ろうと思います。うんちはいくらでしょうか。



村の地図



村の案内図

きよし君のはんでは、村の案内図を作ることになりました。それで、村のようすがひと目で見える学校のうらのおかにのぼってみることにしました。

北の方には、時計台のついた役場が見えます。役場のむこうには、駐車場があります。駐車場の西には、製糸工場があります。西風がふいているのでしょう。けむりが東の方に流

れています。駐車場を出た汽車は東に走り、南にまがって鉄橋をわたっているところです。

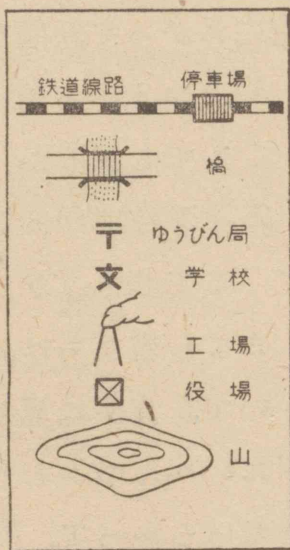
- 1 ゆうびん局は役場のどちらの方角にあるでしょうか。
- 2 学校はゆうびん局のどちらの方角にあるでしょうか。

きよし君たちは、おかの上で村の案内図をかいて、先生に見せました。先生は

「たいへんおもしろい研究をしましたね。」とおっしゃって、つぎのようにおしえてくださいました。

案内図は、この村のようすをすこしも知らない人にもわかるようになっていなければなりません。そのためには、方角を正しくとることがたいせつです。この図では、方角がよくわかりません。地図では矢のしるしをつけて、北の方角をあらわすことにしています。ふつうは上の方が北になっています。そのよ

うなときには、上の方が北であると考えてよ
いわけです。また、鉄道
線路、停車場、橋、ゆう
びん局、学校、工場など
は右のような記号であら
わします。



きよし君たちは、そこ
でもう1度おかにのぼっ
て、案内図を作ることに
しました。こんどは方角
を正しくとるために、じしゃくを持って行く
ことにしました。

じしゃくに合わせてみると、ゆうびん局や
停車場は、北の方角にあることがわかりまし
たが、学校や役場は、どちらの方角にあるの
かよくわかりません。それで、先生にたずね
ました。先生は

「学校は北と東のちょうどまん中でしょう。」

このような方角を北東といいます。」

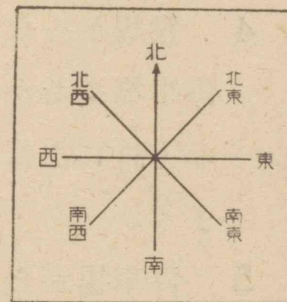
とおしえてくださいました。きよし君は、

「それでは、役場は北と西のまん中にあるか
ら、北西ですか。」

と、先生にたずねました。先生は、

「そうです。東西南北の4つの方角の間に、
北東、北西、南東、南西

という方角を考えます。」
と言われました。



じしゃくのはりがさす
北の方角をもとにして、

東西南北の方角がきまります。北と東のちょ
うどまん中の方角を北東といい、北と西のち
ょうどまん中の方角を北西といいます。また、
南と東のちょうどまん中の方角を南東といい、
南と西のちょうどまん中の方角を南西とい
います。

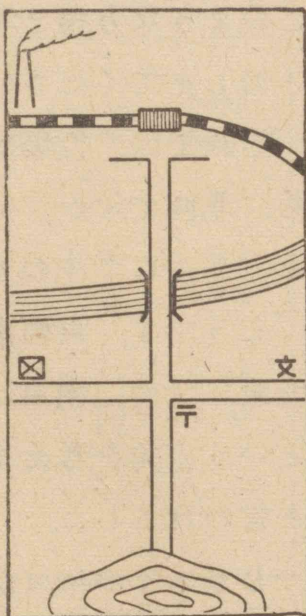
このように、方角をあらわすものを方位と

います。この8つの方位を8方位といいます。

3 学校からながめて、停車場やおかは、どの方位にあたるでしょうか。

4 役場からながめて、停車場やおかは、どの方位にあたるでしょうか。

5 停車場からながめて、学校や役場は、どの方位にあたるでしょうか。



地図と道のり

「おかから役場まで、どのぐらいはなれているでしょうか。」

と、先生はたずねられました。みんなの答はまちまちでした。そこで先生は、

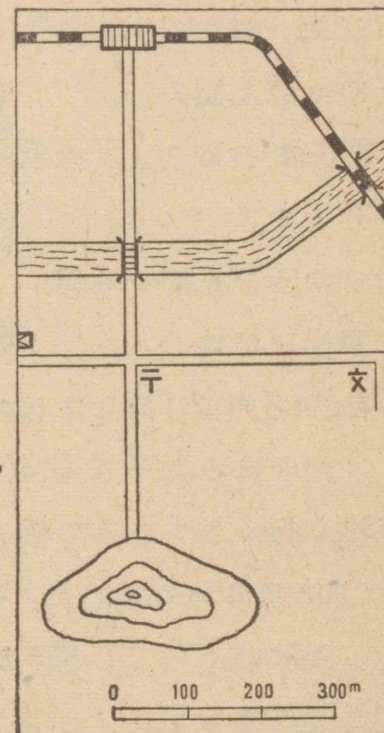
「だれの答が正しいかをしらべるために、地

図を見て道のりをはかるしかたを、おしえてあげましょう。」
 と言って、村の地図をひろげて、せつめいしてくださいました。地図の下の方にかいてある目もりは、この地図の1cmが、

じっさいには100mあるということをしめしています。100

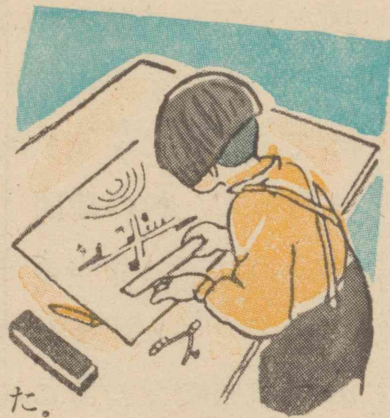
mは10000cmですから、1cmは、じっさいには10000cmをあらわしているわけです。このことを $\frac{1}{10000}$ とか、1:10000という記号であらわすこともあります。

みち子さんが、地図の上で、おかからゆうびん局まで線をひいてはかると、3cmありま



した。おかの上から
ゆうびん局まで、
300 m あることにな
ります。

ゆうびん局から停
車場まではかると、
4 cm 5 mm ありました。



つぎにみち子さんは、ゆうびん局から停
車場へ行くところの橋まではかってみると、1
cm 5 mm ありました。それぞれじっさいのき
よりはいくらでしょうか。わたくしたちも考
えてみましょう。

100 m を 1 cm の長さにかいてあるこの地
図では、1 mm はいくらをあらわすこ
とになるでしょうか。みち子さんは、1 mm は
1 cm を 10 等分したものだから、100 m を 10
等分した 10 m が 1 mm であらわされるはず
だと思いました。

1 1 cm 5 mm の地図の長さは、いくら
のきよりをあらわしているでしょうか。

2 地図で、橋から鉄橋まではかってみま
しょう。何 cm あるでしょうか。じっさい
のきよりは何 m でしょうか。

3 おかの上と学校との間をはかってみ
ると、4 cm 2 mm ありました。じっさいの
きよりはいくらでしょうか。

4 ただし君たちは、地図の上に、自分の
家のあるところをしるしをつけました。
学校と自分の家との間にひいた線の長さ
は、つぎのとおりでした。じっさいの道
のりは何メートルでしょうか。

みち子 4 cm 9 mm とも子 2 cm 8 mm しげる 5 cm 3 mm
きよし 7 cm 2 mm ひろし 9 cm 5 mm かず子 6 cm 7 mm

みち子さんは、学校からだれの家が遠いか
近いかをはかってみて、もっとべんりなしか
たがないだろうかと考えてみました。

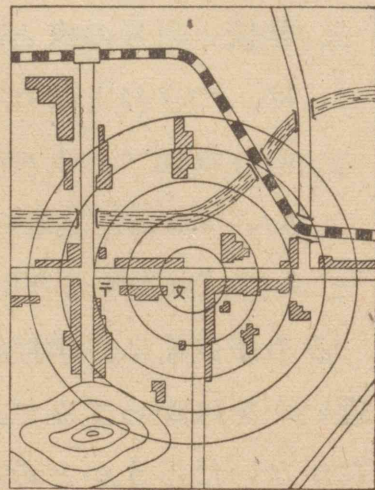
地図の上に、学校を中心としてコンパスの一方のあしと、えんぴつのつけてあるあしを1cmに開いて円をかけば、学校から100mのところがひと目にわかるわけです。コンパスを2cmに開いて円をかけば、学校から200mあるところがひと目でわかります。つぎつぎに3cm, 4cm, 5cmと開いて円をかけば、いちいちものさしではからなくても、およそのきょりがかんたんにわかります。みち子さんの思いつきには、みんなかんしんしました。

コンパスの使い方

円を正しくかくにはコンパスを使います。

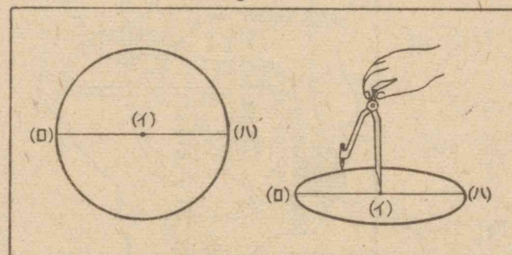
コンパスで円をかくには、

- (1) コンパスの一方のあしとえん



ぴつの先を、かこうとする円のさしわたしの半分に開きます。

- (2) コンパスのあしを、中心とするところへまっすぐに立てます。
- (3) コンパスの一方のあしを中心として、えんぴつの方のあしを紙につけながらまわします。



(イ)(ロ)または(イ)(ハ)のように中心から円のまわりま

でひいた線を半径はんけいといい、さしわたしのことを直径ちやくけいといいます。半径は直径の半分です。

円のまわりのことを円周えんしゅうといいます。

- 1 学校から200mまでの間には、どんなものがあるでしょうか。
- 2 300mのところにあるのは、何と何でしょうか。

3 学校から 400 m, 500 m はなれた間にあるものをあげてみましょう。

4 停車場を中心にして 200 m, 300 m, 400 m はなれたところにあるものをあげてみましょう。

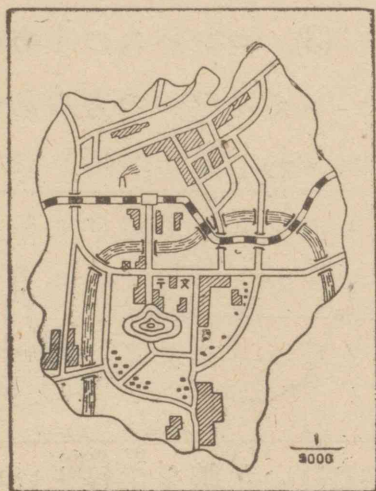
きよし君の地図

きよし君の持っている地図は、100 m を 2 mm にちぢめてかいてあります。

1 この地図で学校と役場の間は
いくらあるでしょうか。

2 この地図で 1 cm は、じっさいの長さではいくらでしょうか。

きよし君の地図は、ずっとこみいって見にくいですが、となりの村や近くの町までかいてあってべんりです。



きよし君は自分の地図で、学校から村はすれにある工場まで、線でむすんではかると、15 mm ありました。じっさいのきよりは、どのぐらいでしょうか。

きよし君は

$$100 \times 15 = 1500$$

とけいさんして、学校から工場まで、1500 m あると考えました。

3 1500 m は何 km あるでしょうか。

4 きよし君の地図で 30 mm の長さは、じっさいには何 km あるでしょうか。

5 29 mm は、何 km になるでしょうか。

このように、地図はいろいろなものがどの方角にあるかということや、それらの間のきよりがどのぐらいあるかななどを、はっきりあらわしています。

この単元のまとめ

- 1 じしゃくのはりは、いつも北の方角をさしています。方位をしらべるには、このじしゃくを使います。
- 2 北の方角をもとにして、東、西、南の方角がきまります。
- 3 北西南東のそれぞれのちょうどまん中の方角を、北西、南西、南東、北東といい、これらの8つの方位を8方位といいます。
- 4 地図のちぢめたわりあいを知れば、地図の上の長さから、じっさいの長さがわかります。
- 5 このことから、案内図をかいたり、地図をよんだりすることができます。
- 6 円のさしわたしを直径といい、直径の半分を半径といいます。また、円のまわりを円周といいます。

テ ス ト

- 1 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 789.8 \\ -379.8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 746.7 \\ -299.9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 587.4 \\ -457.8 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 639.8 \\ -465.9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 608.5 \\ -287.6 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 72.8 \\ 69.7 \\ 24.5 \\ +94.9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 65.2 \\ 59.9 \\ 94.8 \\ +15.9 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 62.7 \\ 48.5 \\ 96.9 \\ +38.6 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 47.8 \\ 64.8 \\ 76.4 \\ +49.2 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 49.9 \\ 59.8 \\ 79.9 \\ +31.7 \\ \hline \end{array}$$

- 2 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 170 \times 2 \\ 48 \times 9 \\ 42 \div 2 \\ 126 \div 6 \\ 255 \div 3 \end{array} \quad \begin{array}{r} 116 \times 6 \\ 37 \times 7 \\ 96 \div 3 \\ 108 \div 9 \\ 328 \div 8 \end{array} \quad \begin{array}{r} 280 \times 3 \\ 85 \times 6 \\ 88 \div 8 \\ 200 \div 8 \\ 375 \div 5 \end{array} \quad \begin{array}{r} 250 \times 4 \\ 69 \times 8 \\ 84 \div 7 \\ 171 \div 9 \\ 496 \div 8 \end{array}$$

- 3 つぎのけいさんをしましょう。

$$\begin{array}{r} 54 \\ \times 17 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 56 \\ \times 49 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 306 \\ \times 48 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 604 \\ \times 27 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 27 \\ \times 635 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 83 \\ \times 305 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 83 \\ \times 29 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 52 \\ \times 75 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 249 \\ \times 64 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 247 \\ \times 38 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 94 \\ \times 182 \\ \hline \end{array} \quad \begin{array}{r} 56 \\ \times 409 \\ \hline \end{array}$$

問題 (一)

- 1 わたくしたちの学校から見て、東、南東、南、南西、西、北西、北、北東の方角にある町や村のおもなものについてしらべましょう。
- 2 きよし君の家は、学校の北東にあります。きよし君の家からは学校はどの方位にありますか、しらべてみましょう。
- 3 100 m を 1 cm にちぢめてかいた地図では、28 km の長さはいくらであらわされますか、しらべてみましょう。
- 4 また地図の上で、26 cm の長さは、じっさいにはいくらでしょうか。
- 5 ただし君の持っている地図は、1000 m を 4 mm のわりあい、あらわしてあります。ただし君の家から学校まで、この地図の上では 3 mm あります。じっさいのきよりは、何 km あるでしょうか。

問題 (二)

- 1 ただし君の組に学用品のはいきゅうがありました。つぎの表は、そのねだんと個数を書き入れたものです。ねだんはそれぞれ

品物	1個の ねだん	数	ねだん
えんぴつ	5 50	48	
けしごむ	2 80	38	
ちょうめん	6 20	85	
画用紙	15 00	18	
コンパス	12 50	9	

いくらになりますか。みんなでいくらになりますか。

- 2 下の表は、よしお君が1年間の身長と体重をしるし

たものです。身長がいちばんのびたのは、いつでしょうか。4月から3月までに、どのぐらいのびたでしょうか。体重についても考えましょう。1年間の身長と体重の折れ線グラフをかきましょう。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
身長cm	125.1	126.3	126.4	126.8	127.2	127.5	128.0	128.6	129.2	130.0	130.3
体重kg	25.0	23.5	25.5	24.5	25.2	25.7	26.5	27.1	27.2	28.2	28.3

研究

- 1 わたくしたちの町や村の案内図を作ります
しょう。
- 2 この案内図で、学校を中心にして、8つ
の方位をしめす線をひきましょう。
- 3 わたくしたちの村の地図をうつしまし
ょう。そして、学校を中心として8つの方角
へ線をひきましょう。また、500 m, 1000
m, 1500m, 2000mをあらわす円をかきま
しょう。
- 4 わたくしたちの家を地図にかき入れまし
ょう。
- 5 中心が同じところにあるいくつかの円を
同心円といいます。今まで学んだところに、
同心円はあったか、しらべてみましょう。

答のページ

						テ ス ト (一)	(P. 17)
1	68	66	244	219	188		
	92	57	258	301	776		
2	694	864	381	2080	1098		
	519	608	966	1626	2088		
	875	820	705	3156	4248		
3	2202	2952	2285	4711	5994		
	1587	1456	5032	4109	1998		
						問 題 (一)	(P. 18)
1	ひろし君のはん	21円60銭					
	ほかのはん	18円	組ぜんぶ	183円60銭			
2	2000円	360円					
						問 題 (二)	(P. 19)
1	25まい						
2	2562さつ						
3	145人						
4	男……434人	女……420人					
						テ ス ト (一)	(P. 39)
1	2230 g	3680 g					
	6070 g	4080 g					
	5015 g	9027 g					
2	2.05 kg	5.62 kg					
	7.06 kg	9.03 kg					
	3.26 kg	8.17 kg					
3	7 kg と 850 g	6 kg と 30 g	26 kg と 350 g				
	4 kg と 500 g	7 kg と 800 g	39 kg と 600 g				
	6 kg と 200 g	9 kg と 910 g	75 kg と 80 g				
4	1.26 kg	3.72 kg	6.38 kg				
	2.05 kg	4.07 kg	8.09 kg				
	6.3 kg	5.1 kg	8.6 kg				
	5.09kg	8.01kg	6.07kg				
						テ ス ト (二)	(P. 40)
1	6.2 kg	8 kg					
	7.64 kg	9.13 kg					
	43.17 kg	81.19 kg					
2	1.9 kg	3.8 kg					
	1.46 kg	6.89 kg					
	2.58 kg	0.67 kg					

3	29	13	24	13
	19	28	14	16
	23	19	25	27
4	22.....1	26.....1	35.....1	19.....3
	13.....3	14.....5	12.....4	11.....7
	11.....5	15.....2	14.....4	16.....1

問 題

(P. 41)

1	3.1 kg			
2	1.87 kg			
3	15.....1	20.....2	14.....1	15.....4
	13.....4	12.....1	12.....3	18.....3
	14.....3	11.....6	13.....4	10.....7
	16.....1	17.....1	29.....1	18.....2
4	16.....2	11.....1	17.....2	16.....4
	12.....3	14.....1	15.....5	12.....5
	11.....6	17.....3	13.....3	16
	13.....6	13.....1	10.....6	14.....4

研 究

(P. 42)

1	190 g
2	100 g

テ ス ト (一)

(P. 59)

1	17.5 km	
2	約400分	
3	6時間18分	
4	1656円	
5	736円	
6	180本	525円

テ ス ト (二)

(P. 60)

1	868	2520	3485	1485	1780
	6000	1150	825	3450	1508
	2028	3551	3432	2340	980
	1485	3285	1786	2652	4484
2	5016	4981	978	1270	
	3791	7980	1688	1664	
	9963	9618	3689	3278	

テ ス ト (三)

(P. 61)

1	630	624	1836	2812	720
	988	1320	3185	2304	2106
2	5811	7975	9417	9621	
	6250	9235	9451	7123	
3	328	1989	1077	3767	
	4180	4832	1108	2218	
	2099	2219	2822	3701	

問 題 (一)					(P. 62)
1	11130	10003	7435	8169	
	6365	9423	8230	8008	
	9651	8346	9999	7000	
2	3655	5696	999	2128	3724
	8217	3102	5355	1653	1690
	1288	2275	3354	7008	2376
	2652	5141	2775	3915	1430

問 題 (二)

(P. 63)

1	6583	8350	9768	10000	
	5310	9030	9431	9086	
	1210	5526	2536	2556	
	1164	1266	3648	2977	
	523	116	3689	8935	
2	3090	3190	3645	4650	
	2730	40480	15150	18910	

テ ス ト (一)

(P. 80)

1	8112	9245	6174	7084	9541
	7560	7845	11988	11472	9086
	8096	7568	9800	15600	8360
	12000	10350	10080	20350	9810
2	12272	6792	9440	11684	14649
	13020	9025	11732	9936	10692
	14742	8960	10080	9750	12000
	7680	14280	13662	10504	18172

テ ス ト (二)

(P. 81)

1	2 m	1 m			
2	500 g				
3	10	10	20	14	32
4	100	90	80		

問 題 (一)

(P. 82)

1	180円			
2	12950円	17820円	18360円	
3	汽車ちん	3042円	入場料	1183円

問 題 (二)

(P. 83)

1	405円60銭			
2	湯のみちゃん	8400円	もうけ	720円
	にんぎょう	7540円		390円
	くつした	3780円		234円

3 | 70200 円

問 題 (三) (P. 84)

1 | 10000 円
2 | 1.9 時間
3 | 約 600 m

4 |
$$\begin{array}{r} \boxed{5} \boxed{2} \boxed{4} \\ \times \boxed{1} \boxed{4} \\ \hline 2 \boxed{0} \boxed{9} \boxed{6} \\ \boxed{5} \boxed{2} \boxed{4} \\ \hline 7 \ 3 \ 3 \ 6 \end{array}$$

研 究 (P. 85)

1 | (1) $\frac{2}{3}$ (2) $\frac{3}{4}$ (3) 400 m (4) 1600 m

2 | (1) よし子さん
(2) よし子..... $\frac{1}{2}$ あき子..... $\frac{2}{3}$ ゆき子..... $\frac{3}{4}$

テ ス ト (一) (P. 104)

1 | 231 個あまり 2 個
2 | 142 人
3 | 389 459 187
91.....2 159.....1 179
715 1224 787
928.....1 416.....5 1053.....5
791.....1 635 246
281.....4 1561.....4 2218.....2

テ ス ト (二) (P. 105)

1 | 140 円
2 | 9380 円
3 | 60 円
4 | 9620 9360 18500 7740
18620 22360 46360 48950
3055 4077 21204 27855
5336 13536 55874 22796

問 題 (一) (P. 106)

1 | 38 97 67 82 62 149
125 129 74 73 74 97
144 316 144 114 97 195

2 | 272 322 1537
719 821 524
1025.....5 862.....2 1634.....1
358.....2 900.....2 361.....3
485.....6 1621.....1 1122.....2

3 | 215.16 m

問 題 (二) (P. 107)

1 | 744 615 836 288
817 504 1922 1092
495 777 1350 2520
216 532 935 3520

2 | (1) 300 円 (2) 725 円

研 究 (P. 108)

1 | 23000 円
2 | 600 円
3 | 300 円
4 | 5400 円
5 | 1500 円

テ ス ト (P. 123)

1 | 410 446.8 129.6 173.9 320.9
261.9 235.8 246.7 238.2 221.3

2 | 340 696 840 1000
432 259 510 552
21 32 11 12
21 12 25 19
85 41 75 62

3 | 918 2744 14688 16308 17145 25315
2407 3900 15936 9386 17108 22904

問 題 (一) (P. 124)

2 | 南西
3 | 28 cm
4 | 2.6 km
5 | 0.75 km

問 題 (二) (P. 125)

1 | 264 円
106 円 40 銭
527 円
270 円
112 円 50 銭 みんなで 1279 円 90 銭

2 | 4 月から 5 月 1.2 cm
5 月から 6 月 2 kg

この教科書を使われる
先生や父兄の皆様へ

日本が平和な文化国家としてよみがえるために、教育がどんなに大切であるかはいまでもありません。わたくしたちは、平和な文化日本を築くための、次代の芽をのびのびと育てあげるために、新しい教育の方針にしたがって、新日本にふさわしいりっぱな教科書をつくろうと努力しております。小学校の算数の教科書の編集にあたって、とくにつぎのことに氣をつけました。

- (1) 子供の身のまわりのことを、数量の面から考えさせ、整理させることによって、数量や図形のあつかい方になれさせ、よりよい生活ができるように導くこと。
- (2) 子供が興味をもつような内容を盛り、どの子供にも理解され、親しまれるようにすること。
- (3) 文部省の算数数学科学習指導要領の改訂にしたがい、ところどころにテストを入れてくりかえし練習させるようにし、また季節的な考慮を加えて、小学教育の実際家に使いよいものにする。

本学年では、数系統を10000まで拡張し、和や差の意味をまとめ、筆算の乗法除法を始めます。もっともかんたんな分数や小数を導入し、コンパスや定木を使ってかんたんな図形をかくことも指導することになっています。前学年につづいて、新しく学習すべきこれらのことを、子供の生活経験に即して導入し、計算の方法などをくわしく説明するとともに、今学年からは、各単元に“まとめ”を入れ、“研究”の欄を設けました。“研究”の問題のうちには、すこし程度の高いものをも入れ、進んだ子供の自発的に考える材料を提出しました。各単元の目標はつぎのようです。

単 元 目 標

進 度	単 元	目 標
四 月	第 1 単 元 学 級 自 治 会	(1) 被除数が2位数、除数が基数で剰余のある場合とない場合。 (2) 除数に商をかけこれに剰余を加えて答をたしかめる。 (3) 1分単位で時こくや時間をあらわす。 (4) こよみを作ることによって実務に習熟せしめる。
五 月	第 2 単 元 畑 の 仕 事	(1) 0 を処理することによってなす乗法の指導。 (2) 0 を処理することによってなす除法の指導。 (3) 測定によって角の指導。 (4) 正方形や長方形や角などの図形の指導。
六 月	第 3 単 元 村 の 人 口	(1) 10000 までの数を読んだり書いたりする指導。 (2) 概数のとらえ方、読み方、書き方の指導。 (3) 被加数と加数が共に4位数で和が10000以下繰上がり1, 2, 3 回に及ぶ。

進 度	単 元	目 標
六 月		(4) 被減数、減数が4位数で繰下がり1, 2, 3 回に及ぶ。 (5) mm 単位できよりはかる。 (6) 1 cm = 10 mm の指導。
七 月	第 4 単 元 わたくしたちのからだ	(1) 1 kg = 1000 g の指導。 (2) $\frac{1}{10}$ の位までの小数を使って量を表わしたり、表わした量を理解する。 (3) $\frac{1}{10}$ の位までの小数の加減を指導。 (4) 折れ線グラフや、二次元の表を作る。
八 月	第 5 単 元 夏 休 みの 練 習	(1) 気温をはかる。 (2) はこづくり。
九 月	第 6 単 元 買 い も の	(1) 和の意味をまとめる。 (2) 被加数と加数とを交換して加えても結果は同じであることの理解。 (3) 三つ以上の数を加える場合にその順序をかえても結果は同じであることの理解。 (4) いくつかの数を引く場合にそれらの減数の和を求めてその和を引いても結果は同じであることの理解。 (5) 被乗数2, 3 位数で乗数が1 位数の乗法や被乗数が1 位数、乗数が2, 3 位数の乗法の指導。 (6) こづかい帳を作ったり記入したりする実務に習熟させる。
十 月	第 7 単 元 秋 の と り い れ	(1) g 単位で重さをはかる。 (2) $\frac{1}{100}$ の位まで小数を使って量を表わしたり、表わした量を理解する。 (3) $\frac{1}{100}$ の位までの小数の加法減法。 (4) 被除数が2位数で除数が基数の除法の指導。
十一 月	第 8 単 元 速 足	(1) 被乗数乗数がともに2 位数の場合。 (2) 時こく表を読んだり、作ったりする実務に習熟させる。 (3) 1 km = 1000 m の指導。
十二 月	第 9 単 元 店 し ら べ	(1) 差の意味をまとめる。 (2) 被乗数が2, 3 位数で乗数が2, 3 位数の場合の乗法の指導。 (3) 店の仕事をてつだったり、賣上帳をつけたりして実務に習熟させる。

進度	單元	目 標
一 月 三 月	第 10 單元 えきのしらべ	(1) 被除数が 3, 4 位数で除数が基数で剰余のある場合とない場合。
	第 11 單元 村の地図	(1) km 単位できよりをはかる。 (2) 北東, 北西, 南東, 南西の方位の指導。 (3) 簡単な案内図をつくること。 (4) 直径, 半径の指導。 (5) コンパス, 定木を使って簡単な図形をかくこと。

評価の基準について

“テスト” “問題” “研究” の結果についての評価はつぎのようにします。本学年では問題を“テスト” “問題” というふうに、児童の個人差に應じうるように排列いたしました。したがって“テスト” を十分学習できたものが“問題” にすすみ、問題が十分にできたものが“研究” にすすむように心がけたものであります。

そこでこれらの問題の結果についての評価を、第 1 単元の“テスト” を例として、具体的に説明いたしますとつぎのようであります。その他の問題もこうした考え方で評価いたします。

テ ス ト (一)

評点	ましがえた数
1	A 0
	C 1
2	A 0
	C 1
3	A 0~2
	B 3~6
	C 7 以上

ましがえたものは、1 ページから 10 ページまでを復習する。

編集にたずさわった人

監 修 者

東京大学教授 彌永昌吉 東京大学教授 三村征雄
理学博士 兼東京文理大教授

編 集 委 員

津田塾大学 黒田孝郎 東京大学東京高等学校 藤末宏
講 師 講 師
東京学芸大学第三師範 松原元一 城南高等学校 織田富勝
大泉中学校主事 教 諭
お茶の水女子大 加藤康順 お茶の水女子大 山口愛子
附属小学校教諭 附属小学校教諭
東京学芸大学第三師範 金児賢治
大泉小学校教諭

東京書籍株式会社編集部

挿絵及び装釘 秋岡芳夫 鳥居敏文

新しい算数 四年下 (小学校) (小算)
後期用) (406)

(Approved by Ministry of Education.)

Date Jan. 10, 1950

昭和二十五年三月二十五日 印刷 定価 円
昭和二十五年七月十日 発行

(昭和二十四年十月十日 文部省検定済)

東京書籍株式会社編集部

著 作 者 代 表 者 藤 田 貞 次

東京都北区堀船町一丁目八五七番地

東京書籍株式会社

発 行 者 代 表 者 長 得 一

東京都北区堀船町一丁目八五七番地

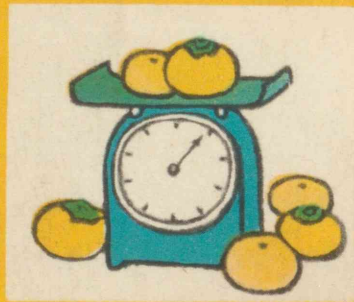
東京書籍株式会社

印 刷 者 代 表 者 長 得 一

東京都北区堀船町一丁目八五七番地

発 行 所 東京書籍株式会社

(出版権の設定登録及び表紙の意匠、装釘登録中)



広島大学図書

0130449782



東京書籍株式会社

教科

34

013